

# HOSEI

Communication Magazine

1·2  
2021



## 市ヶ谷・多摩・小金井キャンパスで大学祭を開催

市ヶ谷・多摩・小金井の3キャンパスで大学祭が開催されました。多摩キャンパスはオンライン開催、市ヶ谷・小金井キャンパスは検温や入場制限など、新型コロナウイルス感染症対策を実施の上、対面で開催されました。学生団体や実行委員がユニークな企画を展開し、それぞれの会場では笑顔あふれる学生や来場者の姿が見られました。

### 市ヶ谷 11月5日(木)~8日(日)

73回目の開催となる市ヶ谷キャンパスのテーマは「Newtro」。「Newtro」とは、「現在(New)」と「過去(Retro)」を融合させた「新しい過去」を意味します。歴史ある自主法政祭の良さを残しつつ、新たな大学祭を皆で作り上げるといった願いが込められており、企画や運営などの多岐にわたって学生たちの新たな工夫とアイデアが光る大学祭となりました。



1 外濠校舎の入り口を彩り、来場者を出迎えた階段アート 2 外濠校舎門では検温や予約の確認など感染症対策が実施された 3 富士見坂庭園で案内をする実行委員の学生たち 4 屋台では個包装された菓子やジュースが販売された 5 よここいサークルによる華やかな演舞 6 教室企画では、各団体が個性あふれる企画を実施し、サークル見学を目的とする新入生の姿も見られた

### 多摩 10月17日(土)

今年のテーマは「抱星祭～夜の星空を見よう～」。今年はYouTubeの生配信機能を用いたオンライン開催となりましたが、動画総再生回数は約1万5千回に達し、大いに盛り上がりました。企画では、例年来場者に人気の「学生発表」や花火を打ち上げる「多摩ナイト企画」など、多くのプログラムが視聴者を楽しませました。



1 横断幕の前でプログラムを進行する実行委員の学生たち 2 えこびよんと多摩祭公式キャラクター「タマサイくん」も応援に駆け付けた 3 YouTubeでは二つのチャンネルが同時に生配信された 4 アカベラサークルの美しい歌声に視聴者は聴き入った 5 ステージ企画では感染症対策のため事前に撮影された動画が配信された 6 多摩祭を締めくくった「キャンドルナイト」

### 小金井 11月5日(木)~7日(土)

68回目を迎えた小金井キャンパスの大学祭は、コロナ禍だからこそ得られるものもあることに気づき、これからの新しい世界、「次のステージ」が開かれるよう願いを込めて「Nextstage」をスローガンとしました。来場者は日ごろの研究成果を紹介した「研究室紹介」や気軽に参加できる「イライラ棒」などのイベントを楽しみました。



1 小金井キャンパス正門で受付の列に順に並ぶ来場者たち 2 受付では実行委員の学生による検温が実施された 3 年齢によって異なるレベルで遊べる屋外企画の「ストラックアウト」 4 「イライラ棒」がコースの壁にぶつからないよう慎重にゴールを目指す 5 コルク銃での狙って景品をゲット 6 「研究室紹介」では、来場者も興味津々にパネルを見つめていた

今年度は本学の学生にとっても、教員や役員にとっても、そしてもちろん保護者の皆様と卒業生の皆様にとっても、新型コロナウイルス感染症の拡大に対応しなければならぬ、たいへん厳しい年でした。大学はまず何よりも、学生がさまざまな授業や自主的活動を通じて学び続け、単位を取得して卒業に向かっていく、という歩みを導くためにあります。本学はそのことと真摯に向き合い、学生の学びを止めないために、さまざまな取り組みをおこないました。

5月1日からは通信環境の整わない学部生や大学院生のために、Wi-Fiルーターやパソコンの無償貸与、そして通信容量増設費用の補助をおこないました。全員が支障なく大学のネットワークにアクセスできるよう、サーバーの緊急増強をおこない、複数の双方向型オンライン授業ツールを法人として契約し、そのアカウントを全学生、院生、教職員に提供しました。全学生に複数ツールのアカウント提供をおこなった大学はあまりないと聞いています。またHOSEI2020オンライン授業支援特設チーム(教学統括副学長のもとに2020年度のオンライン授業を支援する目的で設置)を作り、オンライン授業の質向上のための教員支援向け「オンライン授業ニュース」を発行し続けるなど、学内のさまざまな

### 巻頭言

## ポストコロナの法政大学

法政大学総長 田中 優子



機関が積極的に協力・連携して、教員や学生の支援をおこないました。

さらに給付型家計急変学生奨学金の強化、国の奨学金情報周知、新型コロナウイルス緊急支援奨学金の新設、学生の学内雇用の拡大をおこないました。その上で新型コロナウイルス緊急対策奨学金を創設して5月1日より募集を開始し、皆様から多くのご支援をいただきました。まことにありがとうございます。

私はとりわけ新入生を念頭に置きながら、4月13日より「総長から皆さんへ」を大学ウェブサイト上で発信しました。まだ一度も大学に入っていない新入生をはじめとした学生たちに、心をかけていることを伝えたいと思ったのです。内容は、学生が自宅にいる間にもできる読書について、その大切さや、何を讀んだらよいのかなど、多岐にわたりました。

6月には一時期、対面授業をおこないました。7月の感染拡大ですぐにオンライン授業に戻すことになりましたが、少しでも対面授業を実施することが非常に大切なことだと考え、実施に踏み切りました。

学部による違いもありますが、秋学期には少しずつ実験、実習、演習を対面型で実施しています。対面授業実施のために入構時チェック、消毒薬、プラスチック板、ビニール、密にならない

い教室収容定員を設定するなどの対策を講じております。また対面授業はオンライン、オンデマンドを併用し、参加できない学生がいた場合も、不利にならないようにしています。さらに、在学中にキャンパス内でオンライン授業を受講するために、学生が使うことのできる複数の教室を確保しています。

世界の主要大学は、交換留学や共同研究、大学間連携教育などをこれまで以上に推進すべく、高度な教育と研究のオンライン化に取り組んでいます。この流れは世界レベルで加速していくでしょう。法政大学も世界のオンライン教育プラットフォームにおいて国際化を促進し、オンラインを活用した生涯教育の推進、複数大学をつなぐ大学連携教育プログラム、地方大学と首都圏の大学との新たな連携を進めていくなど、今回の経験をマイナスに捉えず教育、研究の高度化、発展につなげていくつもりです。

世界中の大学が変わります。法政大学は何より対面授業が重要だと考えており、可能な限り実施して参ります。しかしそれは社会の動向、世界の動向を注視しながら判断、決定していくことです。そのなかで、オンライン授業の質を高め、コロナ後の新しい教育方法を日々生み出していきます。

どうかこれからの新しい法政大学に、ご理解とご支援を、なにとぞよろしくお願いたします。

## HOSEI 1・2 Contents

- 02 HOSEI EYE 市ヶ谷・多摩・小金井キャンパスで大学祭を開催
- 03 総長 巻頭言 ポストコロナの法政大学
- 04 2019年度の研究・教育活動に対する受賞・表彰者の紹介 VOL.3
- 09 2021年度一般選抜に向けて
- 10 陸上競技部駆伝チーム 異例尽くしの中でもぎ取った箱根駅伝本戦出場
- 12 卒業生インタビュー 「先人から受け継いだ文化財の魅力を、デジタルの力で多くの人に伝えたい」 凸版印刷株式会社 文化事業推進本部コンテンツ企画部 課長 岸上 剛士さん
- 14 ESSAY 「栄養療法と水素吸入療法に魅了されて」 人間環境学部人間環境学科 教授 宮川 路子
- 16 HOSEI PHRONESIS VOL.33 「経済センサスから国勢調査まで 柔軟な発想で経済統計を究める」 経済学部経済学科 教授 菅 幹雄
- 18 MY CAMPUS, MY LIFE 生命科学部応用植物科学科 植物菌類病診断研究室 (廣岡裕史准教授研究室) / 法政大学カメラ部

- 20 Message 「気象予報士の私にしかできないこと」 文学部地理学科2年 村上 なつみさん
  - 21 THE SCENE VOL.125 野球部
  - 22 後援会だより [2021年を迎えるに当たって] 「支部長会議報告」ほか
  - 26 HOSEIミュージアム VOL.015 「大学昇格そして市ヶ谷キャンパス開設から100年～初代学長・松室 致～」
  - 27 校友会だより
  - 32 HOSEI TOPICS
  - 33 2019年度自由を生き抜く実践知大賞 5
  - 34 付属校短信
  - 35 BOOKS 裏表紙 体育会の活躍
  - COVER 多摩キャンパス 撮影：平野太呂
- 学生の憩いの場として使われている円形芝生からは多摩キャンパスを広く見渡することができます。経済学部棟の角には、多摩キャンパスのシンボリックな建築物であるVブリッジが見えています。撮影をした日は風のない穏やかな小春日和で、上空には気持ちの良い青空が広がっていました。



日本財政学会奨励賞（第76回大会）／日本財政学会

受賞内容 論文『世代間資産移転税制と贈与行動 —2015年相続税増税に対する家計の反応—』



Hamaaki Junya

1980年石川県生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業。一橋大学大学院経済学研究科博士前期課程修了、東京大学大学院経済学研究科博士後期課程修了、博士（経済学）。2014年から現職。専門は公共経済学、応用計量経済学。



記事の詳細はブランディングサイト「法政フロンセス」に掲載しています。

データで読み解く 少子高齢社会の贈与と相続

私はこれまで、生前贈与や遺産相続について研究してきました。今回賞をいただいた研究では、日本で2015年に行われた相続税増税が人々の贈与行動に与えた影響を分析しました。

政府は近年、高齢者に偏在する資産を若年層に移転し、消費を喚起するために、相続税増税をはじめとする贈与を促す政策を進めています。このような政策には政府が期待する若年層の消費喚起効果もあるかもしれませんが、一方で富裕層が贈与を増加させることによる子世代の格差拡大や相続税収の減少などのデメリットもあり得ます。そこで、相続税増税のメリットとデメリットを比較するための第一歩として、相続税増税によって贈与が増えたのかを明らかにすることに取り組みました。

データ分析の結果、2015年の相続税増税によって贈与を行う確率が上昇し、贈与額も増加する傾向が確認されました。このことから、相続税増税の影響を受け

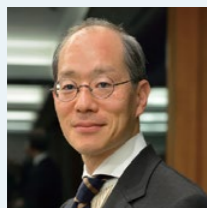
るような富裕層は、相続税を回避するために贈与を行っていることが示唆されます。また、もし人々が子孫に遺産をのこしたいと思っていなければ（つまり、死ぬまでに保有資産を自分で使い尽くそうとしているなら）、相続税増税は贈与行動に影響を与えないはずですが、それとは逆の結果です。したがって、人々は子孫に遺産をのこしたいという気持ち（遺産動機）を有すると解釈できます。

相続税を回避する方法は贈与以外にも多く存在しますので、今後は相続税が人々の行動に与える影響をより多面的に分析する予定です。日本では近年、相続税の課税強化につながる政策が次々と実施されていますが、それを回避する方法も日々進化しています。相続税の回避行動を分析することにより、相続税が資産格差の是正や税収確保にどれくらい有効かを明らかにしたいです。



- ① 第11回日本都市社会学会賞【磯村記念賞】／日本都市社会学会
- ② 2019年度日本都市学会賞【奥井記念賞】／日本都市学会
- ③ 2018年度日本都市計画学会【石川奨励賞】／公益社団法人日本都市計画学会

受賞内容 ①、②、③とも著書『町並み保存運動の論理と帰結—小樽運河問題の社会的分析—』



Horikawa Saburo

1962年米国ワシントンD.C.生まれ。慶應義塾大学大学院社会学研究科社会学専攻後期博士課程修了。博士（社会学）。1997年に社会学部に着任、現在に至る。東京大学客員助教授、ハーバード大学客員研究員などを歴任。



記事の詳細はブランディングサイト「法政フロンセス」に掲載しています。

都市環境の変化をコントロールするのは誰か

2018年に拙著『町並み保存運動の論理と帰結—小樽運河問題の社会的分析』（東京大学出版会）を刊行しました。「誰が都市の変化をコントロールするのか」を小樽で考えてみたもので、小樽の本であると同時に、日本の都市環境問題の本でもあります。書くのに33年もかかってしまいましたが、それだけの歳月が必要だったように思います。なぜなら、立場を超えて活用されるような基礎研究を目指してきたからです。

住民も行政も、数回通っただけで「提言」する研究者など相手にしてくれません。だから私は1984年3月以来、2016年9月までの33年、全47回延べ275日間わたる現地調査のデータを用いて書きました。その結果今では、かつての保存運動参加者と市職員の双方が私に問い合わせをしてくるようになりました。私が行政批判だけをしているわけでも、お先棒を担いでいるわけでもなく、拙著が立場を超えて利用可能なデータ・分析であるからだだと思います。データの集積とその重み

で勝負しようという研究姿勢は、地味ではありますが、現実の社会問題にまっすぐに繋がっているのです。

2019年は驚きの年でした。なぜなら、そんな地味な拙著が三つの学会賞——日本都市社会学会賞（磯村記念賞）、日本都市学会賞（奥井記念賞）、そして日本都市計画学会石川奨励賞——を受賞したからです。それはまったく予想していなかったことでした。なにしろ33年もかかって、気の抜けたビールのようなだと思っていたからです。

同じプロの集団に認められるというのは嬉しいことですが、一番驚いたのは、日本都市計画学会賞でした。何しろ、拙著は日本の都市計画を真正面から批判したものでしたし、理系の都市計画学から文系の社会学は相手にされていなかったからです。この都市計画批判の嬉しい「帰結」を糧に、文理融合の研究を目指していきたいと思っています。



2019年度の  
研究・教育活動に対する  
受賞・表彰者の紹介



Vol. 3

※本特集は、2020年10月号、11・12月号、2021年1・2月号の3号にわたって掲載するシリーズ企画です。

本学では2015年度から「研究・教育活動に対する受賞・表彰祝賀会」として、学会などで受賞し、表彰された教員の方々を祝賀する場を設けています。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、祝賀の場を見合わせておりますが、ここでは、2019年度に受賞・表彰された教員とその研究内容をご紹介します。

※掲載は設置学部・学科順です。



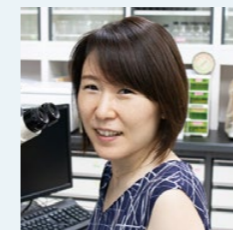
※各記事の詳細は、ブランディングサイト「法政フロンセス」に掲載しています。

<http://phronesis.hosei.ac.jp/feature/award>



第57回日本生物物理学会年会 ABiSイメージコンテスト【知的部門賞】／一般社団法人日本生物物理学会

受賞内容 動画「泳ぐP —クラミドモナス細胞レンズ効果の証—」（共同受賞）



Ueki Noriko

東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻博士前期課程、同博士後期課程修了。博士（理学）。理化学研究所、ドイツ・ビーレフェルト大学などを経て、2019年本学に着任、2020年から現職。研究テーマは緑藻ボルボックス目の環境応答行動とその進化。



記事の詳細はブランディングサイト「法政フロンセス」に掲載しています。

小さな生き物が光の方向を認識するしくみ

田んぼや池の水をくんで顕微鏡で覗くと、そこにはさまざまな色、形、動きの小さな生き物がひしめき合う、まるでおもちゃ箱のように美しい世界が広がっています。今回、そのような生き物の中の、緑色の微生物「クラミドモナス」に関する動画で受賞いたしました。

クラミドモナスは単細胞性の緑藻で、水中を自由に泳ぎながら生活しています。光合成のための光が必要になると明るく方へ移動していきます。細胞の表面には光を感知するタンパク質が集まっている領域があり、これが「目」に相当します。タンパク質そのものは光の方向を認識できませんが、その領域を裏打ちするように板状の構造（カロテノイド顆粒層）があるため、光の方向によって光が直接届いたり板状構造で遮られたりして、細胞が感じる光量に差ができます。くるくると自転しながら泳ぐのは、その差を常にモニターするためです。私たちは、クラミドモナスがこの板状の構造を失うと光の方向を正しく認識できず、光と逆方向へと進んでしまうことを発見し

ました。なぜ逆方向に進むのかは、細胞が集光レンズとしてはたらいていると仮定すると、よく説明できます。そこでレンズであれば像を結ぶはずだと考え、「P」という文字を光路に入れて観察してみました。その結果を示したのが、今回受賞した動画です。細胞表面近くに「P」の文字が結像し、細胞がレンズとしての効果を持つことを証明することができました。



クラミドモナス。直径は約10マイクロメートル（1/100ミリメートル）。オレンジ色の部分が「眼点」（目にあたる部分）。

**2019年度グッドデザイン賞【グッドデザイン・ロングライフデザイン賞】**／公益財団法人日本デザイン振興会

受賞内容 作品「防滴ハンド型メガホン」



Azumi Shin

京都市立芸術大学美術学部デザイン科卒業。英国王立美術大学デザイン科インダストリアルデザイン専攻修士課程修了。2016年から現職。FX 国際インテリアデザイン賞「プロダクトオブザイヤー」(英国) 他、国内外での受賞歴多数。



記事の詳細はブランディングサイト「法政フロンテス」に掲載しています。

**防滴型メガホンのロングライフデザイン受賞**

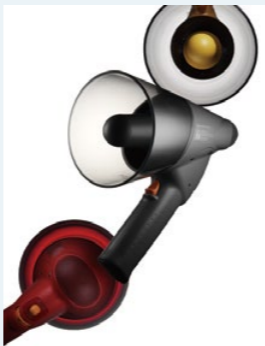
この度、15年前にデザインを手掛けた小型軽量・防滴型のトランジスタメガホン ER1106 シリーズが「グッドデザイン・ロングライフデザイン賞 2019 (主催：公益財団法人日本デザイン振興会)」に選定されました。この賞は、時代を超えるスタンダードと評価され新たなデザインの手本となる商品・サービスに贈られるものであり、15年前に思いを込めてデザインした作品が、時間を経ても色あせることなく、高い評価を受けたことを光栄に感じます。

このデザインは、従来型メガホンの重々しく威圧的な印象を廃し、幼稚園を含む多くの学校やアミューズメントなどの場にも親和性の高い、ユーザーに配慮された機器へとアップデートすることを目指しました。

細かな配慮の集積で成り立っているデザインですが、大きな特徴としてはホーン部に透明素材を用いて、話者と聴衆が互いに目視できるようにしたことです。また集音部にメッシュドームを採用し、高性能マイクを強調し

ています。さらに、汚れが目立たず高品質な印象を与えるダークグレーを標準色に採用し、使用の場に応じた黄色、赤などのバリエーションも設計しました。

デザインした器物が日常に深く溶け込み、長い時間生活を共にする存在となること。それはプロダクトデザインの理想であり、可能性であり、力であると考えます。今後も、目立たなくとも我々の生活を支える重要な存在、長く顧みられなかった物たちに気付く眼を持ち続けたいと思います。



受賞作品のメガホン

**日本設計工学会学会賞【2018年度論文賞】**／公益社団法人日本設計工学会

受賞内容 論文『プラトー構造表面の評価方法の開発』／共同執筆者：伊是名秀昭 (学生)



Yoshida Ichiro

明治大学理工学部機械情報工学科卒業。同大学院理工学研究科機械工学専攻博士前期課程、博士後期修了。博士(工学)。2016年本学に着任。2019年から教授。他の所属として、東京大学生産技術研究所リサーチフェロー、中京大学人工知能高等研究所員。



記事の詳細はブランディングサイト「法政フロンテス」に掲載しています。

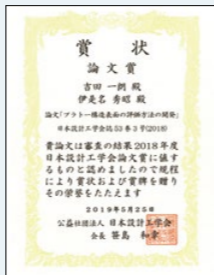
**日本設計工学会 論文賞：データサイエンスの応用で地球環境問題への貢献を目指して**

公益社団法人日本設計工学会より、原著学術論文『プラトー構造表面の評価方法の開発』に対して論文賞をいただきました。

本論文は、私が民間企業から法政大学に着任して初めての卒研学生である伊是名秀昭さんと一緒に研究した内容であるため、とても感慨深い論文であり受賞です。多くの実験データを解析してくれていた伊是名さんの姿を今でも思い出します。そのため、授賞式で賞をもらった際には非常にうれしく、2倍の喜びを感じました。現在も、伊是名さんの後輩にあたる大学院修士課程の学生や学部生と一緒に、受賞論文に関連する研究を継続して進めており、複数の国際会議・学術論文誌に掲載する成果を得ています。

受賞論文は、「プラトー構造表面」と呼ばれる特殊な機能を発現する表面凹凸を対象とした研究です。このプラトー構造表面は、ヨーロッパが主導している国際的な工業標準化機構である ISO (International

Organization for Standardization) の国際規格や JIS (日本産業規格)、先行研究において、その評価手法が提案されてきました。しかし、この手法には、難解で煩雑な方法であるという課題がありました。受賞論文では、データサイエンス・統計計算を応用することで、実用的な新しい手法を開発しました。贈賞していた学会からは、産業界で20年近く課題となり解決しなかった難解で煩雑な計算手法を、直感的に理解しやすいアルゴリズムというだけでなく、理にかなっている新しい手法を提案した点、実際の実験データで有用性の高さを示している点などを評価いただき、受賞に至りました。



論文賞の賞状

**第71回読売文学賞【小説賞】**／読売新聞社

受賞内容 著書『君が異端だった頃』



Shimada Masahiko

1961年東京生まれ。1984年東京外国語大学外国語学部ロシア語学科卒業。在学中の1983年『優しいサヨクのための嬉遊曲』でデビュー。2003年から国際文化学部国際文化学科教授。現在に至る。芥川賞選考委員。



記事の詳細はブランディングサイト「法政フロンテス」に掲載しています。

**壊れかけた自分の臨床報告**

小説には自らの欲望と体験を反映させるので、殺人犯、逃亡者、歴史上の人物、どんな人物を描いても、多少は私小説的要素が入ります。ですが、『君が異端だった頃』はこれまでで最も私小説の純度が高く、9割以上は事実に基づいています。なぜ事実にこだわったかといえば、政治と報道によって、事実が隠蔽され、歪曲され、捏造される時代に再び放り出されたからです。

本来、上手に嘘をつく技を競うのが小説家ですが、あえて自分に関わる事実を包み隠さず書く技も勇気も持っています。恥多き人生を赤裸々に語ること、それは巷にはびこる下手な嘘つき、自分が嘘をついている自覚すらない連中の厚顔無恥よりも百倍道義的でしょう。

震災、悪政、新型コロナウイルス感染症拡大と、暗い世相が長く続く昨今、気づかないままにメンタルにダメージを受けている人も少なくないでしょう。自己保存本能よりも自己破壊衝動が勝る人が増えている気がしてなりません。幸福を享受するより、被害者であることを

選んでしまう。誰かに愛されることより、誰かを憎むことを選んでしまう。愛されたり、感謝されたりしていると感じた途端、それが心の負担になり、意図的に冷淡になり、相手と距離を置こうとする——。誰もが自分が置かれた環境や人間関係に囚われており、なかなかその枷から抜け出せないものです。心の鏡は歪んでいて、ありのままの自分を映し出してくれない。歪んだ自己像に閉じ込められ、自分を正しく認識できず、「どうせ私なんか」と自分を見限りたくなる。私たちは多かれ少なかれ、自分自身の被害者なのです。

壊れかけた自分をどう立て直すか、それはいつの時代でも普遍的なテーマでした。特に文学者たちは自らの体験を元に、あるいは他者、死者との対話を通じて、精神分析を行い、その結果報告を小説の形態で世に問うてきました。『君が異端だった頃』も、そうした自己に施すセラピーの提案であり、かつその臨床報告を意図しています。



- ①ウッドデザイン賞 2019【建築・空間分野ソーシャルデザイン部門】／ウッドデザイン賞運営事務局\*
- ②ウッドデザイン賞 2019【建築・空間分野ハートフルデザイン部門優秀賞(林野庁長官賞)】／ウッドデザイン賞運営事務局\*
- ③きらりと光る北の建築 2019【優秀賞】／一般社団法人北海道建築士事務所協会札幌支部

\*特定非営利活動法人活木活木(いきいき) 森ネットワーク、公益社団法人国土緑化推進機構、株式会社ユニバーサルデザイン総合研究所(林野庁補助事業)

受賞内容 ①作品「木のカタマリに住む」 ②、③とも作品「未来のまちに贈る家」



記事の詳細はブランディングサイト「法政フロンテス」に掲載しています。



Amino Yoshiaki (右)

早稲田大学理工学部建築学科卒業。東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士前期課程修了。スイス連邦工科大学ローザンヌ校にて Master in Timber Structures および Dr.ès sciences techniques 取得。2010年から現職。専門は木造建築、建築生産。

Miyata Yujiro (左)

横浜国立大学工学部卒業。同大学院工学研究科修士課程修了。東京大学大学院農学生命科学研究科修士課程社会人コース修了。同博士課程単位取得満期退学。農学博士。2018年から本学特任・任期付講師。専門は建築工学、木質材料学。

**木造住宅「木のカタマリに住む」「未来のまちに贈る家」**

日本の林業は、建築の木材離れや輸入材依存によって衰退の一途をたどっていますが、森林の維持は、私たちの環境と社会にとって必要不可欠であり、そのためには森林の更新を担う林業の再生は重要なテーマです。こうした中、国産材の活用が呼びかけられ、住宅だけでなくさまざまな大型建築物の木造化も注目され始めています。しかし本当にこの木造ブームが、林業の再生に役立っているのかといえば必ずしもそうではないようです。国産材の利用を拡げるために、木造の分野では、柱や梁(はり)の高精度な機械加工や、大規模設備による木材の接着積層などによって、もともと個体差の大きな生物材料である木材を、均質な工業製品のように規格化・量産化する動きが進んでいます。しかし、このような方法では、設備投資や規格外品の発生などにより増大する中間加工コストを相殺するために、素材生産者である林業にはより安価な木材の提供が求められています。

「木のカタマリに住む」「未来のまちに贈る家」は、林業と社会の互助関係の再構築に役立つように、建築での木材の使い方を見直してみようと考えて設計した住宅です。割れや丸みがあり節が多いというだけで敬遠されデッドストックとなったスギ製材や、北海道の森林の大半を占めるにも関わらず利用が進まないトドマツなどを大量に用いた住宅です。一般住宅の3倍以上の木材を使っています。施工にあたっては、手間さえかければ誰にでもできるローテクな方法を計画しました。折角育てた木を無駄にせずお金に換えること、そして、地域の小さな企業でも活躍できる方法が大切だと思っています。

現在普及している木造建築は、戦後の木材不足の中にあって建物の大量供給が求められた時代に作られた考え方をベースにしています。しかし、今、山には森林資源があふれ、社会では人口減少が進み、木材活用にもこれまでとは違った考え方が求められます。森と社会を取り持つ建築ができればと思っています。

理工学部電気電子工学科 教授 **鳥飼 弘幸**

## 電子情報通信学会ソサイエティ大会【貢献賞】／一般社団法人電子情報通信学会

受賞内容 業績「Devoted Contribution to Editorial Committee of Nonlinear Theory and Its Applications, IEICE, as An Editor (電子情報通信学会 NOLTA ソサイエティ編集幹事としての貢献)」



Torikai Hiroyuki

法政大学工学部(現・理工学部)電気工学科卒業、同大学院工学研究科電気工学専攻修士課程、博士課程修了。博士(工学)。大阪大学大学院基礎工学研究科准教授、京都産業大学コンピュータ理工学部教授などを経て、2018年から現職。



記事の詳細はブランディングサイト「法政フロンセス」に掲載しています。

## 非線形理論を用いた生物模倣ハードウェアの設計とその医療工学への応用

一般社団法人電子情報通信学会は現在約2万6000人の会員で構成される国内有数の大規模学会であり、NOLTA ソサイエティ、基礎・境界ソサイエティ、通信ソサイエティ、エレクトロニクスソサイエティ、情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループの6つのソサイエティ・グループで構成されています。NOLTA ソサイエティは、それらのソサイエティ・グループ中でも基礎研究の色合いが濃いソサイエティです。同ソサイエティの旗艦英文論文誌である[NOLTA,IEICE]は、その名前の通り非線形理論とその応用に関する分野の論文誌であり、同分野の国内外の研究者の間で広く認知されています。

そうした国際的な英文論文誌の代表編集幹事という要職に抜擢していただいたのは、鳥飼研究室(鳥飼とその指導学生)の非線形理論とその応用分野に関する研究実績を認めていただけたためであると思います。本研究室は、2019年度に4年生を受け入れ始めたばか

りの新しい研究室で、現在は博士課程1人、修士課程5人、学部4年生13人が在籍しています。ほとんどの学生がコロナ禍にもかかわらず非常に積極的に研究に取り組んでおり、すでに一流の海外英文論文誌や国際会議などにおいて研究成果を発表した学生も少なくありません。現在取り組んでいる研究テーマの例として、「ヒトの耳の動作を忠実に再現する電子回路とその人工内耳への応用」、「ヒトの脳の一部の動作を忠実に再現する電子回路とその脳疾患治療用チップへの応用」、「昆虫の全脳の動作と機能を模倣する電子回路とその昆虫型ロボットの制御への応用」、「ヒトの遺伝子ネットワークの動作を忠実に再現する電子回路とそのゲノム創薬・ゲノム医療への応用」などがありますが、それらの電子回路を設計するための基本原理として、今回の受賞の対象となった分野である「非線形理論」を用いています。この受賞を励みにして、今後も学生とともに国際的なレベルの研究を続けていきたいと思っています。

生命科学部応用植物工学科 教授 **津田 新哉**

## 2020(令和2)年度日本植物病理学会学会賞／一般社団法人日本植物病理学会

受賞内容 業績「植物ウイルス病の発病機構と防除に関する研究」



Tsuda Shinya

東京農業大学農学研究科農学専攻博士後期課程修了。博士(生物環境調節学)。国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構中央農業研究センターの病害研究領域長を経て、2018年度から現職。専門は野菜類のウイルス病研究。



記事の詳細はブランディングサイト「法政フロンセス」に掲載しています。

## 植物ウイルス病の発病機構と防除に関する研究

戦後の日本農業は、田植え機などの農作業機械と病害虫防除のための化学合成農薬などの開発力に支えられ発展してきました。単一作物の周年栽培で発生する連作障害を制御する化学農薬の臭化メチル剤は、病害虫に加えて雑草防除にまで卓効を示す土壌くん蒸剤として、生産現場で広く使われてきました。しかし本剤は、地球のオゾン層の破壊物質として国際連合で指定され、我が国では2012年に姿を消しました。臭化メチル剤の絶大な効果に依存してきたピーマンモザイク病の防除は新たな局面を迎えました。

ピーマンモザイク病は、種子、土壌、接触伝染する植物のウイルス病です。ピーマンなどがこの病気にかかるとその後の生育が著しく抑制され、出荷できない奇形果が多発します。また、伝染力が強い圃場\*内で瞬く間に拡がり収穫量が激減します。このウイルスは土壌中で安定性が高いため、一度本病が発生した農家では常に再発の危険性を抱えています。病気を防ぐための

第一歩は正確な検査です。そこで、土壌のウイルス汚染程度を的確に把握できる新たな血清学的検定法を開発しました。それにより、モザイク病発生圃場の潜在リスクを正確に判断できるようになりました。検査法の次は防除法です。植物は、ある種のウイルスに感染していれば同種もしくは近縁ウイルスの感染から免れる現象が見られます。そこで、あらかじめ植物に弱毒化したウイルスを接種し、その後の強毒ウイルスの感染を防ぐ「植物ウイルスワクチン」を使った生物防除法を開発しました。本法を生産圃場で試したところ、高い防除効果が発揮され、経営的にも採算がとれることが分かりました。

地球環境に負荷のかかる化学農薬に代え、経営も成り立つ環境に優しい病害虫防除技術を開発するのは困難を極めますが、その技術こそが持続的な安定生産を目指す21世紀農業の基本になると考えています。生産者はもとより、行政や技術開発機関とも連携し、未来に安心できる研究を続けていきます。

\*作物を栽培する田畑

## 2021年度一般選抜に向けて

## 2020年度一般入試概況

本誌8・9月号で既報のとおり、本学の2020年度一般入試の志願者数は、前年度から1万1819人減の10万3628人で、5年連続10万人を超えたものの、2年連続の減少となりました。大学別志願者数ランキングも前年度の全国第3位から第5位に下がりましたが、一方で学内併願者を除いた実志願者数5万2776人は、前年度から5181人減少したものの2年連続で全国第1位となりました。

2020年度一般入試では、首都圏の難関といわれる私立大学のほとんどで志願者数が前年度比90%前後にとどまっております。入学定員管理の厳格化に加えて、2021年度入試から新たに大学入学共通テストが始まるなどの入試改革に対する不安から、受験生の安全志向・地元志

向がより一層高まったことが、その要因ではないかといわれています。

## 2021年度一般選抜における変更点

2021年度入試より、文部科学省の方針に基づき、全ての大学で一般入試が「一般選抜」という名称に変更となりました。また、大学入試センター試験が廃止され、新たに大学入学共通テストが実施されます。これに伴い、本学においてもこれまでの大学入試センター試験利用入試をそのまま引き継ぐかたちで、大学入学共通テストの得点のみで合否判定を行う、大学入学共通テスト利用入試B方式(3教科型)およびC方式(5教科6科目型)を実施します。

この他にも、2021年度一般選抜では、情報科学部A方式入試の試験日変更

をはじめ、左欄のとおり多くの変更点があります。特にGIS(グローバル教養学部)では英語外部試験のスコアがより重視されることとなります。

## 一般選抜における新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症対策として、大学入学共通テストの試験日が追加されました。本学では全ての試験日の成績を利用できるように、大学入学共通テスト利用入試B方式・C方式および航空操縦学専修一般選抜(第1次選考に大学入学共通テストを利用)の合格発表日や入学手続締切日などのスケジュールを変更しました。

また、本学独自の試験であるA方式入試(個別日程)・T日程入試(統一日程)、英語外部試験利用入試については、試験

確認ください。

## 2021年度一般選抜における変更点

## 情報科学部A方式入試の試験日の変更

【変更前】2月6日 コンピュータ科学科・デジタルメディア学科

【変更後】2月11日 デジタルメディア学科、2月14日 コンピュータ科学科(2月6日は試験なし)

- A方式でコンピュータ科学科とデジタルメディア学科の併願が可能になった
- 日程変更に伴い、両学科とも理科(物理)の試験時間が60分から75分に変更になったが、配点はこれまでどおり100点満点

## 生命科学部応用植物工学科A方式入試の合否判定適用科目の変更

【変更前】英語・数学・理科の3教科とも受験した上で、数学と理科のうち高得点の1教科および英語の2教科合計得点で合否判定

【変更後】英語・数学・理科の3教科の合計得点で合否判定

## 英語外部試験利用入試の実施学部学科の追加

法学部政治学科、キャリアデザイン学部が新規に実施。文系8学部11学科、理系4学部13学科で受験が可能になった

## 英語外部試験利用入試の対象試験の追加・基準変更・削除

- GISを除く11学部23学科でケンブリッジ英語検定を対象試験に追加
- 経済学部国際経済学科でGTEC(CBTタイプ)を対象試験に追加
- 法学部国際政治学科で英検、IELTSの基準を変更
- GISでTOEIC®を対象試験から削除

## GISの英語外部試験利用入試を「出願資格型」から「換算型」に変更

【変更前】英語外部試験のスコアを出願資格とし、当日受験する国語または数学の1科目のみで合否判定

【変更後】英語外部試験のスコアを出願資格とした上で、スコアに応じて130点、140点、150点の3段階で得点換算し、当日受験する国語または数学との合計得点で合否判定

## GISのT日程入試の募集を停止

2月5日のGISは英語外部試験利用入試のみ実施。これまでどおり他学部のT日程入試や英語外部試験利用入試を併願することは可能

## 大学入学共通テスト利用入試B方式においてGISは英語外部試験を出願資格として活用

英語外部試験スコアの基準を満たしていることを出願資格とした上で、地理歴史・公民、数学のうち高得点の1科目および国語の2教科合計得点で合否判定

## 主体性評価の導入

インターネット出願の際に、「高等学校入学に相当する年齢からこれまでに、学校内外にて『主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度』をもって活動・経験してきたと受験生本人が考えていること」について、100字以上・500字以下で入力。入力内容については得点化せず(合否判定に利用しない)、入学後の学部での教育の参考データなどとして活用する

入試情報サイト  
https://nyushi.hosei.ac.jp/



# 出場候補選手一覧

1 学部・学科・学年 2 出身高校 3 ベストタイム(2020年10月31日現在) 4 箱根駅伝への意気込み



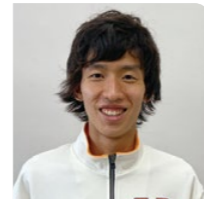
**奥山 智広**  
おくやま ともひろ  
1 経済学部経済学科4年 2 酒田南高等学校(山形県) 3 5000m 14分32秒37、10000m 30分38秒09 4 箱根駅伝総合8位に向けて走り貢献します。



**糟谷 勇輝**  
かすや ゆうき  
1 経済学部経済学科4年 2 八千代松陰高等学校(千葉県) 3 5000m 14分30秒85、10000m 29分57秒27 4 「4年生がいたから目標達成できた」と言われる走りをお願いします。



**須藤 拓海**  
すとう たくみ  
1 社会学部メディア社会学科4年 2 秦野高等学校(神奈川県) 3 5000m 14分32秒55、10000m 29分49秒40 4 みんなで笑って終わるように頑張ります。



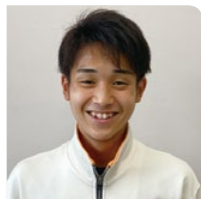
**田辺 佑典**  
たなべ ゆうすけ  
1 経済学部経済学科4年 2 伊賀白鳳高等学校(三重県) 3 5000m 14分21秒42、10000m 29分41秒72 4 走りチームを引っ張ります。



**中村 雅史**  
なかむら まさふみ  
1 経済学部経済学科4年 2 関西大学北陽高等学校(大阪府) 3 5000m 14分21秒55、10000m 30分02秒94 4 最後の箱根駅伝を全力で頑張ります。



**鎌田 航生**  
かまた こうき  
1 社会学部社会学科3年 2 法政大学第二高等学校(神奈川県) 3 5000m 14分08秒08、10000m 28分53秒97 4 エースとして去年のリベンジを果たしたい。



**河野 祥哉**  
かわの しょうや  
1 経済学部経済学科3年 2 小林高等学校(宮城県) 3 5000m 14分32秒00、10000m 30分44秒30 4 努力を結果として発揮できるよう頑張ります。



**久納 碧**  
くのう あおい  
1 経済学部経済学科3年 2 石川高等学校(福島県) 3 5000m 14分13秒31、10000m 29分53秒46 4 チームのために頑張ります。



**齊木 淳人**  
さいき あつひと  
1 現代福祉学部福祉コミュニティ学科3年 2 愛知高等学校(愛知県) 3 5000m 14分40秒66、10000m 31分04秒80 4 チームの勝利に貢献する走りをお願いします。



**清家 陸**  
せいけ りく  
1 社会学部メディア社会学科3年 2 八幡浜高等学校(愛媛県) 3 5000m 14分31秒52、10000m 29分34秒09 4 チームのシード権獲得に貢献したいです。



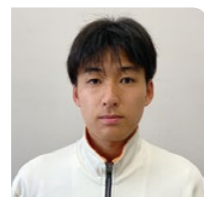
**守角 隼**  
もりずみ はやと  
1 経済学部経済学科3年 2 八千代松陰高等学校(千葉県) 3 5000m 14分25秒21、10000m 30分20秒86 4 走りチームに貢献します。



**内田 隼太**  
うちだ しゅんた  
1 経済学部経済学科2年 2 法政大学第二高等学校(神奈川県) 3 5000m 14分15秒60、10000m 30分23秒91 4 自分らしい走りができるように頑張ります。



**川上 有生**  
かわかみ ゆうき  
1 スポーツ健康学部スポーツ健康学科2年 2 東北高等学校(宮城県) 3 5000m 14分25秒96、10000m 29分52秒62 4 チームに貢献する走りをお願いします。



**河田 太一平**  
かわだ たいへい  
1 社会学部社会政策学科2年 2 蕨山高等学校(静岡県) 3 5000m 14分32秒74、10000m 29分06秒76 4 シード権を勝ち取る走りをお願いします。



**徳永 裕樹**  
とくなが ゆうき  
1 現代福祉学部福祉コミュニティ学科2年 2 自由ヶ丘高等学校(福岡県) 3 5000m 14分31秒80 4 チームに貢献できる走りをお願いします。



**中園 慎太郎**  
なかの けんたろう  
1 社会学部社会学科2年 2 八千代松陰高等学校(千葉県) 3 5000m 14分25秒22、10000m 29分56秒96 4 強気の走りチームに貢献します。



**松本 康汰**  
まつもと こうた  
1 社会学部メディア社会学科2年 2 愛知高等学校(愛知県) 3 5000m 14分15秒13、10000m 29分45秒81 4 笑顔で終わられるよう頑張ります。



**山本 恭澄**  
やまもと かつや  
1 経済学部経済学科2年 2 伊賀白鳳高等学校(三重県) 3 5000m 14分28秒31 4 シード権獲得に向けて精一杯頑張ります。



**稲毛 崇斗**  
いなげ たかと  
1 社会学部メディア社会学科1年 2 東北高等学校(宮城県) 3 5000m 14分31秒18、10000m 30分56秒07 4 必ずシード権を取り返してきます。



**高須賀 大勢**  
たかすか たいせい  
1 生命科学部環境応用化学科1年 2 専修大学松戸高等学校(千葉県) 3 5000m 14分29秒98 4 一生懸命走ります。



**長橋 悠真**  
ながはし ゆうま  
1 法学部政治学科1年 2 小千谷高等学校(新潟県) 3 5000m 14分41秒01 4 与えられた役割でチームに最大限貢献します。



**細迫 海気**  
ほそこ かいき  
1 社会学部社会学科1年 2 世羅高等学校(広島県) 3 5000m 14分30秒63 4 チーム目標である本戦8位に選手として貢献します。



**三原 伶王**  
みはら おう  
1 経済学部現代ビジネス学科1年 2 鳥栖工業高等学校(佐賀県) 3 5000m 14分33秒94 4 1年生らしい勢いのある走りをお願いします。



**宗像 直輝**  
むねがた なおき  
1 社会学部社会政策学科1年 2 東京農業大学第二高等学校(群馬県) 3 5000m 14分10秒00、10000m 30分11秒84 4 チームをいい方向に導く走りをお願いします。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、応援のための外出はお控えください。特に沿道での応援はご遠慮いただき、ご自宅での応援をお願い申し上げます。



陸上競技部駅伝チーム

## 異例尽くしの中でもぎ取った箱根駅伝本戦出場

シード権を失った悔しさをばねに、「第97回東京箱根間往復大学駅伝競走(以下、箱根駅伝)」に向けての予選会に挑み、見事8位通過で本戦出場の切符を手にした陸上競技部。新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)の影響で、試合も合宿もできない中でどのように力を蓄えたのか、チームを率いる坪田智夫駅伝監督と糟谷勇輝主将に聞きました。



地道に走り込んだ日々の練習が予選会突破への鍵に

「予想以上のハイペースに衝撃を受けました」と、前回の箱根駅伝を振り返った坪田監督。15位という結果に、選手たちは大きく落胆したと言います。

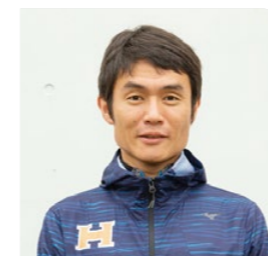
気持ちを立て直し、新たなチームで再スタートを切った矢先、コロナの猛威が世界を襲いました。春から夏にかけて開催されるはずの競技大会は中止になり、他県への移動自粛で夏合宿も取りやめることに。それは、予選会に向けて組み立てていた選手の強化計画が根底から覆ったことを意味していました。

「例年、大会や合宿を経験するにつれて士気が高まり、チームの雰囲気引き締まります。その機会が失われ、プランの全てが白紙になった状況に、一時は頭を抱えました(坪田)。

選手らは異例の事態に不安を抱きながらも、「不運な状況を言い訳にしたい」という思いで、モチベーションをつなぎ止めたと言います。「大学の施設が使えなかった時期には、帰省して実家付近で練習場所を確保するなどして、走る状況を作り出していました。月に一度はウェブ会議ツールでミーティングをしてお互いの状況を確認し合い、今できることをしっかりとやっていこうと声を掛け合っていました(糟谷)。

4年ぶりに参加した予選会。1周2.6kmの敷地内を周回する異例のコースでは、既知のセオリーは通用しません。前半はペースを抑えてスタミナを温存し、10位以内に入ることを意識したと言います。狙い通り、後半一気に順位を上げて8位で予選を突破した時には、選手らの歓喜の声が響き渡りました。

「秩父宮賜杯全日本大学駅伝校選手権大会(全日本大学駅伝)では、書類選考だけで出場



坪田 智夫 監督

陸上競技部駅伝チーム監督。1996年法政大学社会学部社会政策学科入学と同時に陸上競技部に所属し、エースとして活躍。4年次に出場した第76回箱根駅伝では最長区間(当時の「花の2区」)を快走し、区間賞を獲得。卒業後は実業団に所属していたが、2011年に本学駅伝チームのコーチに就任。2013年から現職。

校が選ばれたので、何もできない悔しさだけが残りませんでした。箱根駅伝は予選会を実施してもらえないだけ有り難いという気持ちで、悔いの残らないよう臨みました(糟谷)。

「先の見えない不安の中でも、選手一人ひとりが努力を怠らなかつた。地道な練習の積み重ねが、予選突破につながる力になったのだと思います(坪田)。

チームの力を結集し、お互いを補い合う走り挑む

4年生を中心に話し合っって決めた今年の目標は、8位でシード権を奪還すること。前回は山間を勝負どころとしていましたが、今回は「全員で補い合う戦い方になることは必ず」と坪田監督は見据えます。前回の箱根駅伝で2区を走ったエースの鎌田航生選手、9区で区間7位の力走を見せた清家陸選手、ルーキーで4区を務めた河田太一平選手を中心とした、平地での勝負になりそうです。

最後に坪田監督と糟谷主将からは、本戦への意気込みが語られました。

「例年以上に感謝の気持ちが強いです。皆さんに応援して良かったと思ってもらえる走りを見ていきたい(坪田)。

「チーム一丸となって、見てくださる方に勇気を与えられる走りをしていきたい。応援よろしくお願いします(糟谷)。

第97回箱根駅伝の開催は、2021年1月2日(土)、3日(日)。今回はテレビの前で、駅伝チームを応援しましょう!



## 先人から受け継いだ文化財の魅力を、デジタルの力で多くの人に伝えたい

凸版印刷株式会社 文化事業推進本部コンテンツ企画部 課長

### 岸上 剛士さん

文化財の持つ魅力を多くの人に知ってほしいと、凸版印刷株式会社でデジタルアーカイブの構築やコンテンツ制作に携わっている岸上剛士さん。大学時代に陣内研究室のフィールドワークで受けた数々のカルチャーショックが今につながっていると語ります。

このページでは、法政大学憲章の「自由を生き抜く実践知」を体現している本学の卒業生を紹介していきます。

#### 文化財を伝える仕事が私のライフワーク

私の仕事は、先人から受け継いできた文化財を後世に伝えるためにデジタルアーカイブを制作すること、そのアーカイブを活用してインタラクティブなコンテンツを開発し、文化財の魅力を現代の多くの人に伝えることです。最初に就職した会社では主に都市計画の映像を制作していましたが、運良くルーブル美術館の「ミロのビーナス」のデジタルアーカイブプロジェクトに関わる機会があって、先人の暮らしや思いが詰まった文化財の奥の深さに魅了されました。それをきっかけに、文化財から得られる学びや感動をデジタルの力で伝える仕事をしたいと思うようになり、その分野を積極的に展開している凸版印刷に入社しました。今取り組んでいるのは、地震で大きな被害を受けた熊本城の復旧・復興支援プロジェクトです。実は熊本城とは以前から縁があって、2011年にオープンした観光施設の目玉コンテンツ



VR作品「熊本城」の構想段階の取材の様子。この作品は、歴史文化体験施設「わくわく座」で公開されている。

み出せるのではないかと考えています。

#### 陣内研究室で経験した数々のフィールドワーク

高校生の時にCGに興味を持ち、それに関連する勉強ができそうだなという軽い気持ちで、工学部建築学科を選びました。陣内秀信教授の最初の授業で、迷宮のような中東の都市のスライドを見た瞬間に目がくぎ付けになり、そこから風土や暮らしが見えてくるという説明に吸い込まれました。陣内研究室で行った最初のフィールドワークは、新宿・歌舞伎町でした。増築や改築を繰り返してカオス状態になった建築物をスケッチしながら、この部分は逃げ道として使われたんだろうな、いかかわしい事務所も入っているに違いない……と想像を膨らませていくのが、とても楽しかったです。今も、資料を元にいろいろなストーリーを思い描いていく過程が、文化財をデジタルで再現する際の醍醐味となっています。

#### いつもと違うことをすれば新しい発見がある

大学院の夏休みの海外フィールドワークでは、スペインのアンダルシア地方にある「天空の街」と呼ばれるアルコス・デ・ラ・フロンテラ村を担当し、実測調査や古い建物に住んでいる方へのヒアリングなどを行いました。建築学科の卒業生は、フィールドワークで学んだことを建築設計に生かす人が多い中、陣内研究室の間はファッションや広告、映像など進路が多岐にわたっていて、私もCG映像の制作会社に就職しました。

物館をオンライン上のバーチャル空間で見学できるイベントも開始します。今、学生時代を振り返ってみて感じるのは、たくさんの方のカルチャーショックを受けたことが今の自分につながっているということです。陣内先生と一緒に歩いていると、先生がふといなくなってしまうことがよくありました。路地に入り込んで積極的に迷子になるのが、いろいろな魅力を発見するコツなんだなと思ったものです。学生の皆さんもぜひ、積極的に普段とは違うことをして、カルチャーショックを受けてください。いつもとは違う道を歩いてみる、それだけでも何か新しい発見があるはずです。



アンダルシアでのフィールドワーク。左が岸上さん。中央の男性は芸術家で、お互い絵を描きながら街の造形について話をした。

卒業後は、就職というかたちでこたわらず創作活動をしたと考えていましたが、両親のアドバイスもあって、創作の幅を広げるために、建築物や都市の研究をもう少し掘り下げてみようと思ひ、大学院に進学。並行して、専門学校でCGを本格的に学びました。

熊本城のプロジェクトからも分かるように、デジタルアーカイブやVR技術は、文化財の魅力を伝えるだけでなく、さまざまな地域活性化や観光振興など、社会課題の解決にも活用されています。2020年10月にスタートした「しあわせ文化財プロジェクト」もその一つで、長引くコロナ禍で旅行が控えられる中、オンラインツアーを介して、文化財やその地域・人との接点を提供し、現地へ利益を還元する仕組みもなっています。ツアー第一弾の行き先は、2016年に私がデジタルアーカイブを担当した奈良・興福寺で、リモート拝観などが自宅にいながらにして楽しめます。また、12月には東京国立博



Kishigami Tsuyoshi

法政大学第二中・高等学校を経て1998年に工学部建築学科に入学。2004年に大学院工学研究科建設工学専攻修士課程を修了し、CG映像制作会社に入社。2008年、凸版印刷株式会社に入社。2013年に刊行された陣内研究室編『アンダルシアの都市と田園』（鹿島出版会）では、「第2章 アルコス・デ・ラ・フロンテラー天空の街」を担当。



# 栄養療法と水素吸入療法に魅了されて

人間環境学部人間環境学科 教授 宮川 路子

## 産業保健から栄養療法へ

産業保健を専門としていた私が栄養療法に舵を切ったのは6年前のことです。医学部卒業以来、予防医学を志し、病気になってから病院で治療をするのではなく、病院に行く前の段階での健康増進を目指していた私は、当時大きな壁に直面していました。それまで「正しい生活習慣で病気を防ぐ」という予防医学の理念の下、生活習慣改善の指導をしていましたが、健康的な生活を心掛けていた人から「なぜ、こんなに気を付けていたのにがんになってしまったのでしょうか？」というような切実な声が寄せられるようになっていったのです。

また、産業医として働く人の健康管理に携わる中、メンタルの調子を崩す人も増えつつありました。そんなとき、大学

教員として不安や悩みを抱える学生の相談を受ける中で気付いたのが、食生活の乱れでした。これはうつ病の社員にも共通しており、特に1人暮らしの学生や社員の食事は、コンビニ弁当やファストフード、カップ麺などのインスタント食品、あるいは麺類、おにぎりなどの糖質に偏った食事だったのです。

さらには、うつ病で休職する社員が精神科処方薬を飲み続けても回復しないとか、親元で休養して元気になったのに1人暮らしに戻って復職すると再発してしまうというケースもありました。これらを考え合わせると、「心身の健康にとって大切なのは栄養だ」という当たり前の考えに行きついたのでした。そこから私は、体内の栄養バランスを整えて病気を予防・治療し、健康増進を図る分子整合栄養医学の勉強を始めました。

## 父のがん発症と栄養療法

栄養療法に進むも一つ一つのきっかけとなったのが、父のがん闘病でした。私が高校2年のとき、52歳だった父が腎臓がんを発症し、その後肺への多発転移で余命数カ月と言われましたが、さまざまな民間療法を試みて奇跡的に回復しました。そのときに父が取り入れた治療の一つが栄養療法だったのでした。栄養医学の勉強を始めてみて、当時父が実践した糖質制限、ビタミンB群・Cの大量摂取がいかにか重要なものであったかに気付きました。

父は2017年にも耳下腺がんを発症し、すでに転移もある悪性度の高いものでしたが、これも標準治療の手術、放射線治療、抗がん剤と、私が行った統合医療の組み合わせにより運よく克服し、89歳の現在も元気に過ごしています。父の

放射線治療の副作用が著しく抑えられたことは私の研究のステップとなりました。

## 栄養療法の実践

人の身体は栄養で作られています。身体を構成する細胞は主にタンパク質や脂質でできていますから、これらが不足するとさまざまな不調が出ます。さらに、細胞中のミトコンドリアでエネルギーを作り出すためには、ビタミンやミネラルが必要になります。ですから、これらが足りないとエネルギー不足となり、元気がなくなってしまうのです。コンビニ弁当や糖質まみれの食事ばかりでは栄養をしっかりと賄うことはできません。体調不良や精神障害の患者さんに栄養指導を行い、食事での摂取が十分でない場合にはサプリメントを利用すると、びっくりするほどの改善を認めました。

休日には栄養療法を実践するクリニックに勤めながら勉強を続けていきましたが、他人のクリニックでは自分の理想とする治療ができないというジレンマに陥り、2016年の年末に小さなクリニックを開きました。時間が取れる日曜や平日夜に予約制で細々と診療をしています。いろいろな悩みを抱える患者さんが来院し、カウンセリングと栄養療法で回復しています。無料でメール相談も受け付けていますし、発達障害の子どもの栄養療法にも力を入れています。不登校やいじ

め、引きこもりなどの改善を目指し、親子一緒に診察も行っています。

## 水素の素晴らしい健康効果

クリニックでは栄養療法だけでなく、免疫力を上げるといわれている水素ガス吸入療法も取り入れました。今までに約百人の患者さんに導入していただき、目を見張るほどの効果が得られています。

水素は体内での活性酸素の除去、血流促進、抗炎症効果、抗アレルギー効果、副交感神経を優位にする作用などが確認されており、抗がん効果も期待されています。慶應義塾大学病院で行われた研究では、心停止で病院に運ばれた患者さんに水素ガス吸入を行うと、蘇生後の脳神経と心臓の障害（虚血再かん流障害）が著しく抑えられることが分かり、厚生労働省から先進医療Bに指定されています。

また、高血圧などの生活習慣病、脳梗塞、心筋梗塞、肺炎、認知症、花粉症、アトピー性皮膚炎、ぜんそく、関節リウマチなどの疾患や、抗がん剤・放射線治療の副作用軽減、冷え性改善など、幅広い効果があるといわれています。この他にも実際に吸入している方々においてさまざまな効果が認められています。特に睡眠改善効果は著しく、「熟睡できるようになった」「長年の睡眠薬服用をやめることができた」という報告が数多く寄せられています。副交感神経

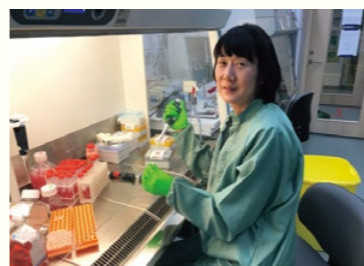
が優位になると緊張が解けて気持ちが悪くなるという効果もあるようです。そして最も重要なポイントは、水素吸入療法には副作用が一切なく、標準治療に影響を与えないことです。

## 栄養療法と水素で医療費を削減する夢を追う

私は「栄養療法と水素で健康増進を目指し、医療費を下げる」という壮大な夢を抱いて、その普及を目指しています。2018〜2019年にはスウェーデンの医科大学・カロリンスカ研究所に留学し、水素とビタミンCの抗がん効果、および放射線防護効果についての基礎研究を行いました。非常に良い結果が得られ、現在法政大学から特許を申請中です。

こうした統合医療は保険適用になっていませんが、健康増進のために役立つと確信しています。ただし、理解を得るのが難しい場合も多く、主治医から否定されることもあります。私は「信じて試してみる」ことをお勧めしています。

大学の講義では、人生100年の時代において健康寿命の延伸を目指し、健康の基本は栄養であるということ意識してもらうために、統合医療についてのテーマを取り上げています。少しずつこのような治療（健康増進法）が広まって、皆が健康で幸せに過ごせるようになることを心から願っています。



スウェーデン・カロリンスカ研究所でがん細胞を用いた実験中の筆者

※近代西洋医学と補完・代替療法や伝統医学などを組み合わせて行う療法



Miyakawa Michiko

1966年生まれ。慶應義塾大学医学部卒業、同大学大学院医学研究科博士課程単位取得退学。医学博士、産業衛生専門医・指導医、社会医学系専門医・指導医、NPO法人再チャレンジ東京顧問。ストックホルム大学ストレス研究所客員研究員(2007～2008)、カロリンスカ研究所客員研究員(2018～2019)。平成27年度中央労働災害防止協会緑十字賞、平成29年度建築物環境衛生管理会長賞を受賞。共著書に『こころの「超」整理法』(2012、中央経済社)。



こころと身体の栄養療法  
栄養療法の正しい知識を伝える  
宮川教授個人ウェブサイト  
<https://eiyouyohou.com/>



## 経済センサスから国勢調査まで 柔軟な発想で経済統計を究める

統計学の中でも経済統計のエキスパートとして多方面での統計調査に携わる菅幹雄教授。  
分野を問わない柔軟な発想で統計を作るためのアドバイスや提案にも尽力しています。

経済学部経済学科 教授 菅 幹雄



統計調査の中に隠れた  
数字には表れない人の機微

統計学の一分野である経済統計学を主に専門としています。調査結果を分析する他、どのような調査を行うのか、調査設計を策定したり調査項目を検討するなどの作業にも携わっています。

手掛けている調査統計は多岐にわたります。2020年に実施された国勢調査や経済センサスなど、国政で必要とされる調査にも関わりました。世帯を対象とした国勢調査と、事業所・企業の経済活動を調べる経済センサスでは、データの利用目的が違うこともあり、調査手法や注意すべき点は大きく異なります。どちらにも携わっているのは珍しい例かもしれません。

統計調査の主な目的は、現状を知り傾向を推測することです。国勢調査が5年ごとに繰り返されるのも、過去の調査結果と比較することで、構造変化の傾向を推し量れるからです。また、時代の変化を鑑みて、調査項目を改定していく必要があります。そうした中に、統計調査の面白さがあります。

統計調査は地味な作業で、集計結果も無味乾燥な表に見えるかもしれませんが、調査背景や手法を理解すると、さまざまな妙味が隠れています。例えば、ある国での国勢調査でのこ

自分を客観的に見つめることで  
実践知を引き寄せる

統計学の手法は、平均寿命、景気動向、スポーツの勝率、内閣支持率など、日常のあらゆる場面で活用されています。統計の基礎知識を学び、客観的な根拠として示すことで、説得力が大いに増すからです。現代の情報化社会では重要性の高いスキルなので、簡単な基礎知識は身に付けておくことをお勧めします。

個人的には、学生のうちに、秀でた能力のある人たちと出会う経験をしてほしいと思います。「すごい、とてもかなわない」と感嘆するような人との出会いは、自らが持つ力を客観視するきっかけになり、自分が何ができるかを考える強烈な刺激になるからです。真剣に自分を見つめ直し、思考を働かせることから、社会にもまれても生き抜ける「実践知」が生まれるのではないかと期待しています。

もともとは、統計学の手法を用いて経済学の実証分析を行う「計量経済学」に携わっていましたが、統計の作

と。調査票に記された家族構成は老夫婦に子どもが一人。ただ、子どもの年齢が2歳であることを不審に思っ調べてみると、その「子」はペットの犬でした。老夫婦の心情は想像できず、調査側からすると苦笑いするしかない結果です。

他にも調査を実施する側が悩ましく頭を抱えるのは、調査対象の名簿づくりです。行政が管理している情報と実情は必ずしも一致せず、登記上は存在しても営業実態のない休眠企業もあれば、各種届出がされないまま住所を変更した住民がいることもあります。正確を期すためには、調査開始前に一軒一軒訪ねて居住者を確認したり、宛先にきちんと届くかハガキを送ってみるなど、知恵を絞って確かめるのです。最も重要なながら、デリケートな領域に踏み込むことになるので、最も難航する作業でもあります。

### 日本の経済統計の発展を支えてきた歴史

こうした「調べてみて初めて分かること」が山ほどあり、統計データの中には、数値化できない人間の機微がいくつも含まれていると感ずるのです。



日本統計研究所が主催するワークショップでは、外国(主に米国)から講師を招き、現場に即した統計手法などについて学んでいる(写真は2018年撮影)



ワークショップには、研究者や統計調査に関わる企業など、学外からも多くの人が参加。経済統計分野の発展に寄与している(写真は2018年撮影)



学生とも気さくに交流。写真は、ゼミで卒業生を送り出す親睦会での一枚(写真は2019年撮影)

り方に興味を覚え、経済統計に携わるようになりました。

研究拠点として法政大学を選んだ理由の一つは、付属施設として「日本統計研究所」があったからです。

日本統計研究所は、第二次世界大戦中に日本銀行内に開設された「国家資力研究所」を前身組織としています。戦後、財団法人として独立して改組され、名称も「日本統計研究所」と改め

ました。当時、所長を務めたのが本学元総長である大内兵衛氏です。その縁で、研究所と大学の関係は密接になり、1953(昭和28)年に大学構内に移転され、1981(昭和56)年には付置研究所となりました。

日本の統計制度は、戦後に米国のサポートを受けて大きく発展し、国内総生産(GDP)や経済成長率を算出できるようになりました。しかし、長らく継承し続けている調査手法が、情報が進んだ現代にはそぐわなくなっている点も指摘されています。

日本統計研究所では、講演会を開催したり、海外から現場をよく知る担当者を招いて最新の調査手法を学ぶ国際ワークショップを開催するなど、経済統計分野の発展を後押しする研究活動を続けています。

### Suga Mikio

1968年東京都生まれ。慶應義塾大学商学部卒業、同大学院商学研究科博士前期課程修了、博士後期課程単位取得満期退学。2001年博士(商学)。東海大学教養学部講師、東京国際大学経済学部助教授、同教授などを経て、2011年より本職。現在に至る。日本統計学会、環太平洋産業連関分析学会所属。2017年より、日本統計研究所所長を務める。

※経済センサス：事業所・企業を対象とする各種統計調査をまとめたデータ。「経済センサス・基礎調査」と「経済センサス・活動調査」の二つから成り立ち、国勢統計(国勢調査)、国民経済計算に準ずる重要な統計と位置付けられている。

**創**部97年の歴史を誇る法政大学カメラ部。100人以上いる部員の約半数は初心者だといいますが、その一人である新浪さんは「代々木公園で、花見撮影を楽しむイベントに参加した時、和気あいあいとした雰囲気ひかれました」と笑顔で語ります。「今ではミラーレスカメラを持ち歩き、友人たちと出かけた旅行先などで、思い出づくりの撮影を楽しんでいます」。

活動は精力的で、年に3回開催する合宿の他、撮影会も任意で企画。「行きたい人が自由に企画して、公園や観光地などに出向き、部員を被写体にしたリ、撮り方を工夫したりしながら、思い思いに撮影しています」と語るのは、高校時代から写真部に所属していたという上野さん。「初心者でも楽しみながら実践的に技術を磨く機会になっています」。

撮りためた作品は、定期的に展示会を開催して披露しています。2年生のメンバーのみが集って開催した「2年生展」を振り返ったのは鎌田さん。「先輩たちの手を借りず、学外のギャラリーを借りる交渉から、どの作品をどのように展示するかまで、同期で話し合っって開催までこぎ着けました。念願のフィルムカメラで撮影した作品で臨んだこともあり、印象深い経験になりました」と満足

**法政大学カメラ部**

**実践的な活動で  
スキルを磨き、  
自分の感性を頼りに  
日常を切り取る**



**クラブ・サークル**

※今回はオンラインで取材しています

上段左から、平見生さん（文学部哲学科3年、代表）、鎌田龍太郎さん（社会学部メディア社会学科3年）、新浪紗英さん（デザイン工学部建築学科3年）、下段左から、上野浩聖さん（経済学部国際経済学科2年）、内藤朝陽さん（文学部哲学科2年）



本格的な撮影に挑戦しようと、フォトスタジオを借りて開催した撮影会。照明などもプロ仕様の機材を使い、クオリティーを追求した（写真は2019年撮影）



新歓での花見、年3回の合宿など、撮影を兼ねた交流の機会も多い。2019年に開催した夏合宿では砂浜でスイカ割りを楽しんだ



市ヶ谷キャンパスの大学祭には、他キャンパスに属するメンバーも合同で参加して大教室に作品を展示している（写真は2019年撮影）

そう思い出を語ります。

外部との交流イベントも盛んで、大学内の写真系サークルと合同で企画する展覧会や、毎年2月頃に東京六大学の写真系サークルが集って開催する「六大学写真展」などに、定期的に組み込んでいきます。2020年は、多くの定例イベントが中止となりましたが、部員たちはそれぞれ、任意で活動を続けたといっています。8月に、知り合いの店の一角を借りて、小さな写真展を開催したのは内藤さん。街の風景の瞬間を切り取ったストリートスナップとともに「misery（惨め）」というタイトルの作品集も展示しました。「写真を撮るときにはきれいな一枚を残そうとする傾向があるけれど、現実はいかなことばかりじゃなく、苦しいこともあります。そうした表現もできるか挑戦したいと思ひ、モノトーンの作品にまとめました」

「今後は、新型コロナウイルス感染症との共存を考えたサークル運営を模索していくことになると思っています」と語るのは代表の平さん。「作品発表はオンラインでもできますが、部員間の関わりやつながりがあってこそサークル活動だと思っています。少しでも交流できる機会を設けられるように考えていきたい」と意欲的に語ります。

**植**物の病気の多くは菌類が原因で発症するといわれています。廣岡研究室では、国内外の企業や研究所、大学からの植物病害診断依頼を積極的に受け入れ、弱ってしまった植物がどのような病気にかかっているのか、その病気を起こしたのとはどのような病原菌で、どのような対処が必要かを診断しています。いわば植物の病院のような研究室です」と紹介してくれたのは織田さん。

植物に寄生する病原菌の中には、まだ解明されていないものも多く存在します。新種の菌類や未解明の植物病害などを発見した場合は、命名することもでき、廣岡准教授もすでに50種以上の新種を発見しています。自分の研究成果が後世にまで残る可能性は、学生たちのやりがいに通じているといえます。

研究室に配属になってまもなく着手するのが、病害診断の練習です。「野外調査として採集地に赴いたり、研究所などから送られてきた植物の病状を観察し、興味を覚えたサンプルを5種選んで、研究を始めます。顕微鏡で病原体の形態観察をしたり、遺伝子解析をするなどして、どのような病気を発症しているのか特定していきます」と語る大塚さん。入室当初から、さまざまな病気の診断に取り組んでいます。

**生命科学部応用植物科学科 植物菌類病診断研究室(廣岡裕吏准教授研究室)**

**植物に感染する  
病原体や予防医療  
などを追究し、  
迅速で正確な  
対策をめざす**



**ゼミナール・研究室**

上段左から、廣岡裕吏准教授、大関美乃利さん（4年）、織田琢郎さん（4年）、下段左から、大塚峻祐さん（3年）、森岡花梨さん（3年） ※全員、生命科学部応用植物科学科

※今回はオンラインで取材しています



植物病害が見られる場所に出向き、枯れ具合や、特徴的な病状がないかを観察する野外調査。写真は小笠原諸島を訪れた時の一枚（2017年に撮影）



研究生同士の親睦を深めるために、交流イベントも数多く開催。写真は、2019年の春にバーベキューを開催した時の一枚



他の研究者との意見交換は、知識を深めるための大切な機会。写真は、2019年に開催した海外の研究者との食事会の様子

2020年は新型コロナウイルス感染症の影響により、お互いの研究成果の発表はオンラインで実施。ウェブ会議ツールを通じて意見交換をすることで、病気の診断に必要な知識を深めています。合宿や親睦を目的としたバーベキューなどのイベントの機会は減っていますが、実験室などでの交流を通じて、個別に関係を深めているといっています。「それぞれ取り組む研究は異なりますが、先輩方は、分からないことがあれば誰もが丁寧な教えてくれるので、不安なく研究を進めています。今は直接会ってお話しをする機会が少ないですが、お互いが気持ちよくフォローし合える関係を築けています」と森岡さんは笑顔で語ります。

「本人がやる気をもって研究に取り組める環境をサポートしたい」と語る廣岡准教授。そうしたフォローを受けながら、4年生は個人研究に集中しています。廣岡研究室で手掛けられていた研究を引き継ぎ、診断技術の開発に携わっているのは大関さん。「土壌伝染病害を引き起こすバクテリウム菌について調べています。病原体の正体解明につながれば、種苗を植える前に発症リスクが予測できるので、病気の予防や防除につながります」と、植物の予防医療に携わるやりがいを語ります。

# THE SCENE

大学有数の歴史と実力を誇る、法政大学体育会。  
そんな伝統ある40体育会が日々活動しているワンシーンを、迫力あるカラーグラビアで紹介します。



## 野球部

撮影場所：明治神宮野球場  
撮影：田中伸弥  
左の写真は2020年東京六大学  
野球春季リーグ優勝時

野球部は1915(大正4)年に創部され、東京六大学野球連盟に所属しています。これまでの戦績は、春季および秋季リーグでの優勝回数が46回、全日本大学野球選手権大会での優勝も参加校最多の8回を誇り、日本を代表する大学野球部として活動しています。多くの卒業生がプロ野球やアマチュア野球を問わずに活躍しており、2019年度は2人のプロ野球選手を輩出するなど、野球界の発展のために尽力しています。2020年度も鈴木昭汰選手(キャリアデザイン学部)、高田孝一選手(法学部)、石川達也選手(キャリアデザイン学部)の3人がドラフト会議で指名され、今後の活躍が期待されます。これからは伝統ある野球部として、大学野球日本一を目指して練習に取り組んでいきます。

## Message

「自由な学風」の下で、自ら考え、  
行動する学生の声を届けます。

## 気象予報士の私にしかできないこと

文学部地理学科2年

Murakami Natsumi

村上 なつみ さん

よく言われるのです。「気象予報士とお天気お姉さんは、何が違うの?」って。その違いは「自分の言葉で、気象に関する情報を伝えることができるかできないか」にあります。用意された原稿ではなく、自分の言葉で天気を伝えることができるのは気象予報士だけです。すごいことだと思いませんか?

しかし、ただ天気を伝えたくて気象予報士になったわけではありません。きっかけは、中学生の時に所属していた屋外の部活動です。練習が苦手で、いつも「雨が降らないかな」と空ばかり見ていました。そのうち、自分でも天気を予想できたら面白いなと思い、気象予報士を目指すようになりました。

高校では気象予報士試験の勉強に集中したいと思い、付属校である法政大学第三高等学校に進学し、高校2年生から年に2回ある気象予報士試験への受験を始めました。そして、文学部地理学科に入学した1年生の冬、6回目の挑戦で気象予報士試験に合格しました。

大学の勉強と気象予報士試験の勉強を両立させることは、正直に言うとうち方も勉強なので、それほど苦ではありませんでした。それよりも



勉強によって遊ぶことを制限される方が多かったです。みんなが遊んでいるときにも独りで勉強し、同じ目標に向かって励まし合う仲間もいなかった。孤独を感じることも多く、大変でした。好きなことのためにしている勉強だからこそ、ここまで頑張れたのだと思います。

気象予報士になってから数カ月後に、「news zero」の天気コーナーを担当することになりました。気象予報士として番組に参加できることを誇りに思います。自分の言葉で大好きな天気を多くの人に伝えることは、とても貴重なことだと感じるからです。

天気は、きれいな現象を起こして人々を癒やすこともあれば、大きな被害をもたらして人々を傷つけることもあります。こうした天気の持つ全ての表情を、自分の言葉で皆さんにお伝えできるように頑張ります。気象予報士として、私が持っている知識を伝えることができたらうれしいです。

近年は台風や豪雨などが続き、天気は怖いという印象が強いかもありません。ですが、実際の天気は奥が深くて面白いのです。中学生の時に感じた「天気って面白い!」という感動を、私の言葉を通して、皆さんに伝えていきたいです。

# 後援会だより

「子どもの母校は我が母校」  
「後援会だより」は後援会が保護者の皆さまと作るページです。

## 2021年を迎えるに当たって



後援会会長  
清水 伸行 (智洗 / 情報科学部)

本年度も後援会活動に多大なるご支援、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

2020年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、10月までの後援会活動を中止いたしました。これにより後援会会員の皆さまに多大なご迷惑とご心配をお掛けいたしました。

緊急事態宣言が発令され、大学は全学部で対面授業を取りやめ、オンライン授業で対応をいたしました。その後、少しずつではありますが、対面授業が再開されています。

大学では、「新型コロナウイルス感染症に対する行動方針」を作成し、行動制限レベルを0〜5の6段階に分け、キャンパスの入構や教育活動、課外活動などの指針を示し、学内の感染拡大防止に努めています。さらに、困窮する学生を支援するため、「新型コロナウ

イルス緊急対策奨学金」を立ち上げるなど、早急な対応を行っています。

後援会も大学に協力し、学生支援に努めています。また、近年頻発している自然災害で被災された学生・ご家族に対しても大学と共に支援を続けていく所存です。この支援は、今年度だけの一過性のもではなく、次年度以降も続けていきます。ご理解のほど、よろしく願い申し上げます。

このような状況の中、法政大学体育会の活動も次第に再開され、その活躍は学生たちをはじめ、私たち保護者にも力と笑顔を与えてきています。8月10日(月・祝)から開催された東京六大学野球春季リーグ戦では野球部が3季ぶり46回目の優勝を飾り、10月17日(土)に陸上自衛隊立川駐屯地の周回コースで開催された第97回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会では、陸上

競技部が終盤の見事な追い上げで8位となり、本戦出場を決めました。

2021年1月2日(土)、3日(日)に開催される本戦では、皆さまご存じのように沿道応援が自粛となりました。ぜひテレビの前から選手たちへの熱い声援をよろしくお願いいたします。

2020年の法政大学後援会は、設立当初の理念を再確認する年になったと思います。学生が大学生活を安心して送れるよう、これからもサポートを行ってまいりますので、引き続き、後援会活動へのご理解、ご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

2021年は、新型コロナウイルス感染症が収束し、皆さまにとりまして、そして何より学生たちにとって、明るく穏やかな年になりますよう祈念申し上げます。

### 後援会ウェブサイト 会員限定特設ページ開設中

2020年度の父母懇談会開催中止に伴う代替企画として、会員(保証人)向けに大学情報などを掲載しています

<https://www.hosei-koenkai.org/members>



会員限定特設ページ (要ログイン)

## 支部長会議報告



後援会副会長  
磯崎 恵美子 (凧 / 経営学部)

皆さまには、平素より後援会活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今回の支部長会議は、11月14日(土)に市ヶ谷キャンパス外濠校舎薩埵ホールにて、オンライン参加と来場による初めてのハイブリッド形式の開催となりました。

支部長会議は、田中優子総長のご挨拶



撻で始まり、「秋学期に入り、実習科目を中心に一部対面授業を再開した。しかしながら、多くの科目をオンライン形態で行っており、学生アンケートで指摘のあったオンライン授業の質の改善を目下の課題とし、取り組みを進めている」という内容を中心にお話いただきました。

続いて、清水伸行会長より「学生の元氣な活動を保つため、これからも後援会は学生を支援するための活動をしていく」と挨拶がありました。その後、来場者とオンライン参加者の自己紹介がありました。

会議ではまず、2020年度臨時総会表決結果の報告と決議を行いました。続いて、より良い学生支援につなげるため、議案1「支部活動補助経費の組み換えに関する提案」について審議をし、承認されました。

休憩を挟んで、議案2「コロナ禍における支部活動(情報交換)」を行いました。オンライン参加者を2グループ、来場者を3グループ、今年度に周



年を迎えた支部を1グループとし、50分程度情報交換を行いました。グループに分けたことで、支部同士の活発な情報・意見交換、スムーズな交流が図れました。支部活動の上で苦労していること(役員の選出など)、や工夫していること(イベント活動など)、オンライン会議の活用状況、わが子の様子などさまざまなことを共有することがで

きました。そしてあらためて、「コミュニケーションが大切」「コロナ禍で大変ですが」知恵を出し合って乗り越えていこう」と一致団結しました。

また、今年度周年を迎えた支部での記念事業は実施が見送りとなりましたが、これらについても、来年度はコロナが収束し、安心して行えることを願っています。

今回は、初めてのハイブリッド形式での開催となり、各支部の役員の皆さまにとっては戸惑いも大きかったのではないかと思います。新たな試みにご協力くださいました各支部役員の皆さまに感謝申し上げます。

これからも後援会では、大学に協力し、学生が安心して学校生活を送れるよう、支援を続けていく所存です。末筆ではありますが、支部長会議の開催において、田中総長をはじめ多くの大学職員の皆さまにご協力いただき、この場をお借りして御礼申し上げます。

※( )内は子どもの名前/学部

## 2020年度法政大学後援会臨時総会電子表決結果のご報告

全ての議案において、行使された議決権の賛成が半数を上回り、11月14日(土)付けにて可決・承認されましたことをご報告いたします。

※電子表決が行われない場合は、議長に一任として取り扱い

### 【議案】

- ・第1号議案「2020年度事業計画案」
- ・第2号議案「2020年度予算修正案」
- ・第3号議案「2020年度後援会本部役員候補者案(補充)」

(臨時総会の資料は後援会ウェブサイトに掲載しています)

## 2020年度収支予算(2020年4月1日～2021年3月31日)

### 【収入の部】

(単位:円)

科目(款)	2020年度予算額
1.一般収入	229,658,000
2.雑収入	1,347,000
3.積立金・引当資産からの繰入	105,000,000
4.預り金収入	0
当年度収入合計(A)	336,005,000
前年度繰越金	79,582,000
収入合計(B)	415,587,000

### 【支出の部】

(単位:円)

科目(款)	2020年度予算額
1.自然災害等被災(含む、コロナ困窮)学生のための学生支援費	100,000,000
2.学生支援費	98,693,000
3.会員情報費	29,899,000
4.会員行事費	6,836,000
5.役員活動費	10,748,000
6.企画運営費	22,615,000
7.人件費	11,997,000
8.学生支援積立金	110,000,000
9.後援会積立金	0
10.引当資産	1,000,000
11.未払金支払	33,000
12.前払金	0
13.予備費	5,000,000
14.期末未払金	0
15.前期末前払金支払	0
16.預り金支払	0
当年度支出合計(C)	396,821,000
当年度収支差額(A)-(C)	△60,816,000
次年度繰越金(B)-(C)	18,766,000
支出合計(D)	415,587,000

### 2020年度予算の主なポイント (2020年度暫定予算からの変更点)

1.コロナ禍の影響により、中止、または例年の形態で実施できなかった次の事業に関する予算4千万円を凍結する。予算凍結分を全額「自然災害等被災(含む、コロナ困窮)学生のための学生支援費」(以下、「コロナ困窮等学生支援費」)に充当する。

#### 【凍結する事業予算】

- (1) 支部、及び首都圏父母懇談会に係る予算
- (2) 支部新入生父母の集いに係る予算の一部
- (3) 2020年5月支部長会議に係る予算等

2.さらに、学生支援積立金4千万円を取り崩し、当初予算2千万円と予算凍結分を合わせた総額1億円を「コロナ困窮等学生支援費」に予算計上する。

なお、本「コロナ困窮等学生支援費」予算より、大学が実施する「新型コロナウイルス感染症禍に伴う家計急変奨学金事業」等への寄付(41,350,000円)を予定。また、予算残額については、今後の学生支援の必要性に応じ機動的に予算執行する。

## 法政大学後援会事務局

〒102-0073  
東京都千代田区九段北3-2-3 法政大学九段校舎4F  
TEL: 03-3264-9350  
FAX: 03-3264-9367  
E-mail: koenkai@hosei.ac.jp

後援会ウェブサイト  
<https://www.hosei-koenkai.org/>



## 2020年 写真で振り返る後援会



- 1 1月2日 箱根駅伝応援
- 2 1月11日 オール法政賀詞交歓会
- 3 1月19日 軽井沢スキーバス転落事故 慰霊・献花(長野県支部)
- 4 7月5日 支部役員会議(福井県支部)
- 5 5月29日 市ヶ谷キャンパス(ポアソナード・タワー)近くをコロナ対応従事者へエール飛行するブルーインパルス(後援会事務局のある九段校舎から)
- 6 9月19日 首都圏本部運営会議
- 7 10月24日 本部新役員予定者説明会
- 8 11月14日 支部長会議



HOSEIミュージアム  
HOSEI UNIVERSITY MUSEUM

# 大学昇格そして市ヶ谷 キャンパス開設から100年 初代学長・松室致



1

本学は1920(大正9)年の「大学昇格」から100年を迎えました。大学昇格とは、大学令に基づき「大学」として認可されたことを指します。それ以前も校名は「法政大学」ですが、あくまでも専門学校令に基づく学校でした。

初代学長として、この大学昇格に尽力したのが、松室致(まつむろ・いたす)です。1852(嘉永5)年、福岡県の小倉藩士の家に生まれた松室は、司法省法学校を卒業後、判事を務める傍ら、本学の前身である東京法学校の講師として刑法や民法を教えていました。公職で長崎に赴任中も、発足したばかりの校友会の九州支部長を担うなど、本学との深い関係が途切れることはありませんでした。

省法学校で松室と同期だった梅謙次郎が、本学の総理(現在の総長に相当)として清国留学生法政速成科の設置など、諸事業を推進していましたが、志半ばで急逝。学校運営責任者の空白が続く中、松室が梅の後を継いだのです。

大学昇格の翌1921年、本学は「豚小屋」と呼ばれていた手狭な九段上校舎から富士見校地(現在の市ヶ谷キャンパス)に移転。甲州財閥の重鎮で校友の神戸挙一らの助力を得て、木造3階建ての第一校舎を竣工しました。

びえ立ち、正面玄関アーチ上部には松室学長の筆による「法政大学」の看板が掲げられました。本学は関東大震災の被害も少なく、モダンな校舎を次々に建設し、キャンパスを整備していきます。

周囲の富裕層の子どもたちが多く入学したことから、法政版の「モボ(モダンボーイ)」である「法政ボーイ」が神楽坂や飯田橋を拠点に華やかな学生文化を形成したのもこの時期です。



3



2

## HOSEIミュージアム開設記念特別展 都市と大学

—法政大学から東京を視る—  
場所：市ヶ谷キャンパス九段北校舎1階ほか  
期間：2021年3月1日～4月23日(予定)  
詳細：HOSEIミュージアムウェブサイト  
(<https://museum.hosei.ac.jp>)

- 1 松室致の肖像写真(1930年頃、新館学長室にて)
- 2 遺族から寄贈された松室致の大礼服一式(ジャケット、ベスト、ズボン、正帽)
- 3 外濠から見た第一校舎(1927年経済学部卒業アルバムより)  
左端に見える完成目前の第三校舎は、空襲による焼失を免れ、戦後「第一校舎」と改称し、2007年解体。

# 校友会だより

一般社団法人法政大学校友会(以下、校友会)は、「法政ネットワーク」強化により校友憲章に謳っている「価値の創生・共創」を基本理念に、大学、後援会と手を携えて三位一体で諸事業を推進してまいります。



大好評だった2020年1月開催の業種別・異業種交流会

「卒業後も法政は楽しい!」をテーマに2019年10月、20〜30代の卒業生コミュニティ「法政オレンジコミュニティ(HOC)」を立ち上げました。その1年間の取り組みを振り返ります。

## 法政オレンジコミュニティ 1年間の振り返り

から、若手世代に激励のメッセージが送られました。直近では、次のようなイベントをオンラインで開催しました。

- ・日本酒&日本酒のペアリング講座(9月)
- ・英語学習術×習慣化力セミナー(10月)
- ・卒業後5年祭(10月)
- ・身体に優しい日本酒「熱燗」講座(11月)
- ・おいしいコーヒーの淹れ方セミナー(協力：本学卒業生・猿田彦珈琲代表)

仕事や趣味に生かせる、スポーツ企画、母校とのつながりを感じられるなどのテーマで各種イベントを実施し、累計で500人近い卒業生が参加しました。

取締役大塚朝之氏(12月)卒業生をリレー形式で紹介

特に人気だったのが、2020年1月26日(日)に実施した「業種別・異業種交流会」。校友会の3大イベントの一つ「オール法政新年を祝う会」の合同企画として開催され、スペシャリストとして登場した菅義偉内閣官房長官(現・内閣総理大臣)、鈴木直道北海道知事

さまざまなフィールドや地域で活躍する本学卒業生をHOCウェブサイトで紹介しています。紹介された卒業生が次の卒業生を紹介するというリレー形式で、すでに20人が登場しました。今後多くの卒業生を紹介していきます。

法政オレンジMAPを展開  
卒業生が経営する飲食店やホテル・旅館などを紹介する「法政オレンジMAP」を開設し、校友会ウェブサイト



HOCのイベントや活動に関する情報、卒業生紹介は、HOCウェブサイトに掲載しています。LINEやTwitterなどでも情報を発信していますので、ぜひ登録してください!



HOCウェブサイト



HOCグッズ第一弾のTシャツ、パーカー、ポロシャツ

「シンプルで普段使いできる大学グッズ」をテーマに、卒業生と職員が一緒にデザインを考案しました。第一弾はTシャツ、パーカー、ポロシャツの3アイテムです。詳細はHOCウェブサイトに掲載していますので、ご覧いただき、ぜひお買い求めください。

### HOCグッズを製作

お問い合わせ：一般社団法人 法政大学校友会事務局 Tel:03-3264-1831 Eメール:info@hoseinet.or.jp ウェブサイト:https://www.hoseinet.or.jp/

水力発電・送変電設備のプロとして  
共に豊かな社会を支えよう



写真：J-POWER 田子倉発電所(福島県)

**J-POWER** 株式会社J-POWERハイテック

本店所在地：東京都千代田区九段北4丁目2番5号(共益市ヶ谷ビル) <http://www.jphytec.co.jp/index.html>

法政大学の皆さまへ 技術系・事務系の皆さま、ご応募お待ちしております！

電話：03-3237-2323 E-mail:saiyou@jphytec.co.jp ※OB・OG訪問も受付中です。

「新しい」に、踏みだす。



文化シヤッター



文化シヤッター株式会社 〒113-8535 東京都文京区西片1丁目17-3 ☎ 0570-666-670

ひとりひとりが、未来を灯す。



**関電工**

〒108-8533 東京都港区芝浦4丁目8番33号 <http://www.kandenko.co.jp/>

# 法政財界人倶楽部

会長 村田紀敏 (昭和41年卒)

当倶楽部は、平成5年10月に

1. 母校法政大学の発展に協力し奉仕することを主旨とする。
2. 母校法政大学の出身者として広く校友会活動を通じて社会発展に寄与する。

を主な綱領に法政大学出身者の経済人(上場一・二部企業の役員)を構成員に設立されました。

**母校法政大学を応援します!**

**新しい会員の参加につきましても随時受け付けております。**

上場企業の「役員・執行役員」会員(現在227名)に加え、「部長職・課長職」会員(現在145名)の入会も受け付け中です。  
法政財界人倶楽部事務局まで申し込み連絡をください。

## 法政財界人倶楽部 役員

2020年10月現在

財界人役員	氏名	会社名	役職
会長	村田紀敏	(株)セブン&アイ・ホールディングス	元代表取締役社長
副会長	高橋 清	(株)パイロットコーポレーション	元代表取締役社長
副会長	山口 学	(株)関電工	特別顧問
副会長	田邊光雄	信金中央金庫	相談役
副会長	竹中宣雄	ミサワホーム(株)	取締役会長
副会長	堰八義博	(株)北海道銀行	代表取締役会長
副会長	瀧澤利一	(株)バルカー	代表取締役会長
副会長 (事務局長)	佐々木郁夫	(株)日本共同システム	代表取締役会長 (元明治安田生命専務)
常任理事	宮嶋宏幸	(株)ビックカメラ	副会長
常任理事	青山陽一	(株)日通総合研究所	代表取締役社長
常任理事	浅野紀美夫	プラス(株)	代表取締役副社長
常任理事	池谷文雄	日本生命保険(相)	顧問
常任理事	市村尚裕	(株)きらぼし銀行	専務執行役員
常任理事	犬塚 勇	山崎製パン(株)	専務取締役
常任理事	岩下周三	(株)フジタ	専務執行役員
常任理事	潮崎敏彦	文化シャッター(株)	代表取締役社長
常任理事	鈴木和夫	ライト工業(株)	取締役会長
常任理事	武澤雅吉	トピー工業(株)	常務執行役員
常任理事	長 裕章	(株)ジェーシービー	代表取締役兼専務執行役員
常任理事	皆見 薫	(株)JTБ	取締役 専務執行役員
常任理事	中島圭一	シチズンマシナリー(株)	代表取締役社長
常任理事	長島康雄	東海運(株)	代表取締役社長
常任理事	三浦善功	明星食品(株)	代表取締役社長
常任理事	山下勝征	(株)ハウスイ	元取締役副社長執行役員
常任理事	山本雄一郎	(株)タチエス	代表取締役社長
常任理事	吉沢正明	(株)オンワードホールディングス	元取締役副会長
監事	木嶋伸一	トピー実業(株)	代表取締役社長

事務局

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-11-18 711ビル8階 株式会社日本共同システム内 担当:道山・矢賀部  
TEL 03-3369-0804 FAX 03-3369-1990

予選会突破!  
箱根駅伝  
出場決定

今大会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、  
沿道での応援は禁止となっておりますので・・・

**今年はテレビの前で**  
我々HSCは、日本一の応援を目指します

第97回箱根駅伝 2021年1月2日、3日 AM 8:00 Start

応援イベントに関する詳しい内容は、こちらから。  
法政スポーツインフォメーション (<https://hosei-sports.jp/>)



応援グッズを  
ダウンロードしよう



2019年度  
自由を生き抜く実践知大賞 5

2019年度「自由を生き抜く実践知大賞」には大学憲章を体現するような実践の取り組みとして18件がノミネート。厳正な審査にて、大賞と大学憲章に連なる本学の理念などのキーワードを冠した4賞の計5賞が選ばれました。ここでは、それぞれの受賞の取り組みを順に紹介します。

真に自由な思考と行動賞

PASS (The Program "Your Awareness Saves Society")

(実践主体：法政大学国際高等学校)



ノミネート理由・活動概要

PASSは、法政大学国際高等学校のSGH（スーパーグローバルハイスクール）の実践の一つであり、社会参加活動を行うPBL型の学びです。

具体的には、生徒が各自の関心に基づいてチームをつくり、①社会課題を設定、②その解決に向けて、調査・取材を実施しながら具体的なアクションを実行、③プレゼンテーションなどの発信と振り返りを行って、次の課題を再設定するという3段階で進めます。「総合的な探究の時間」の一部であり、活動は主に、放課後や夏休みを利用して生徒が自主的に実施することになります。

PASSの活動は、教員と生徒代表で構成される会議体REPS (Representatives' meeting) が協力して推進しています。活動の成果としてポスター発表やプレゼンテーションを実施する発表会を開催し、代表者は海外プレゼンテーションに派遣されます。

※SGHの指定は2019年度に終了しましたが、PASSプログラムは整理・統合しつつ発展的に継続しています。

総長からの選定理由コメント

「多文化共生」「グローバル・キャリア」「エンバイロメンタル・スタディーズ」の3分野を「持続可能な社会の実現」に結び付け、課題を明確にした上で、生徒が自らの関心に基づいて自主的にチームをつくっているところに特徴があります。

学校の外へ取材に出るといった行動、プレゼンテーションによって批評を受けるという経験などを通して、自分を社会の中に置き直し、自らの知るべきことを考える習慣が生まれていると思います。主体的な学びの模範でしょう。

「国際高等学校の学びの文化」という意識を醸成していることを評価したいと思います。

受賞者からの感想

このプログラムの特徴は、生徒に「実際の社会課題に直面している人々、またはそれを取り巻く人々」と直接関わることを課している点にあります。インタビュー、ボランティア、ワークショップへの参加など、方法はさまざまです。その結果、生徒は自分と社会は連続的なもので、自分は社会課題に関わりうる存在であると自覚するようになります。3年次に開催する個人発表では、教員の想定を超えるような素晴らしい取り組みが何件も発表されるのが最大の魅力です。

(国際高等学校教諭 清水 澗大)

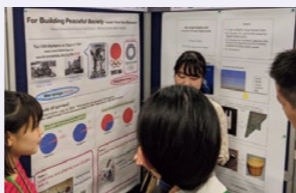
英語でのプレゼンテーション～「PASS」の教育的効果

国際高等学校教諭 阿部 高裕

本学の生徒は、さまざまな場でPASSの課題研究の成果を英語で発表してきました。2018年3月に関西学院大学で開催された「2018 SGH甲子園」には2人の生徒が参加。「Work-Life balance in Japan」のタイトルで研究成果を発表し、ポスタープレゼンテーション部門の「優秀賞(英語)」を受賞しました。多くのアジア圏の高校生が参加する学術発表大会「グローバル・リンク・シンガポール」でも、さまざまな国の高校生や研究者に向けて毎年プレゼンテーションを行っています。「総長杯英語プレゼンテーション大会」で高い評価を得てきた発表も、その多くがPASSでの取り組みについての報告でした。

自らの学びを英語で表現していく積極的な姿勢からは、国際高等学校の生徒らしい、「世界のどこでも生き抜く力」を見いだすことができると思います。

2019年度「グローバル・リンク・シンガポール」での発表の様子



「自由を生き抜く実践知大賞」の各賞の詳細や表彰式の動画は、HOSEI PHRONESIS (http://phronesis.hosei.ac.jp/) をご覧ください。



HOSEI TOPICS



入試期間中の窓口業務について

入試期間中(p.9に掲載)は、入学試験会場の変更などに伴い、各キャンパスの窓口の業務時間が変更になる場合があります。詳細は2021年1月12日(火)以降、大学ウェブサイトでご確認ください。



入試期間中の卒業生証明書発行について

入試期間中(p.9に掲載)は入構制限があるため、期間中に各種証明書が必要な卒業生の方は郵送で申請していただくか、「卒業生証明書オンライン申込システム」をご利用ください。

※オンライン申し込みの対象は、通学課程の卒業生、通信教育課程の在学学生・卒業生のみです。別途所定のシステム利用料が発生します。  
※オンライン申し込みにより発行できない証明書があります。その場合は郵送で申請してください。詳しくは大学ウェブサイトの「各種証明書申請」を参照してください。



図書館の春季休館について

各キャンパスの図書館は、蔵書点検などのため2021年3月8日(月)～13日(土)まで休館となります。また、1月19日(火)～3月31日(水)に春季長期貸し出しを行います。返却は4月15日(木)まで(卒業・修了予定者は3月24日(水)まで)です。詳しくは図書館のウェブサイトでご確認ください。



〈卒業後50年を迎える皆さまへ〉  
2021年入学式  
ご招待の中止について

法政大学では、毎年、卒業後50年を迎えるご卒業生を入学式にご招待させていただいておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2021年入学式のご招待については中止することといたしました。

ご参加を楽しみにされていた皆さまには大変残念ですが、ご理解いただけますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】法政大学卒業生・後援会連携室  
TEL: 03-3264-9230

日本学生支援機構奨学金  
継続手続きに関するお知らせ

1. 継続手続きについて  
奨学金を貸与および給付中の方(2021年3月満期者を除く)は継続手続きが必須です。日本学生支援機構スカラネット・パーソナルから継続願をウェブ入力してください。詳細はHoppiiに掲載している書類をご確認ください。法政大学のウェブサイトにも概要を掲載しています。

入力期限:2021年1月17日(日)

2021年4月以降の奨学金継続を希望しない場合も、「希望しない」との回答をウェブ入力・送信する必要があります。

2. 2021年4月以降の振り込み開始日  
継続許可者の2021年度初回の奨学金振込日は2021年4月21日(水)の予定です。継続許可の通知などはありません。記帳などにより入金を確認してください。

3. 問い合わせ先(電話番号)  
【市ヶ谷キャンパス】厚生課 03-3264-9486  
【多摩キャンパス】多摩学生生活課 042-783-2151  
【小金井キャンパス】小金井学生生活課 042-387-6011

2020年度卒業・進級発表について

2020年度の卒業・進級発表は、2021年2月末以降に各学部のウェブサイトで行います。発表日や詳細については、各学部のウェブサイトでご確認ください。

第139回学位授与式のお知らせ



(写真は2019年撮影)

第139回学位授与式(卒業式)を、2021年3月24日(水)の午前の部と午後の部の2回に分けて、日本武道館にて行う予定です。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、式典には卒業生以外の方はご入場いただけません。詳細は大学ウェブサイトでご確認ください。

※新型コロナウイルス感染症の状況によって式典を中止とする場合があります。



本学専任教職員の最近の著書、編纂書、訳書をご紹介します。

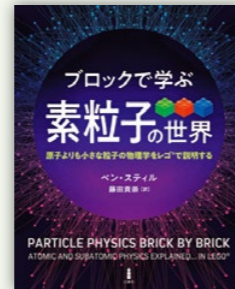
# BOOKS



## 経済学・経営学のための 英語論文の書き方 アクセプトされるポイントと戦略

日本の大学では、経済学・経営学の分野に特化した英文ライティングの学習法が確立されておらず、そうした講座も筆者が知る限りほとんどない状態。本書は、英語で論文を執筆し、国際的なジャーナルへの投稿にチャレンジしたいと考えている日本の研究者や大学院生の方々が、論文採択のための戦略的な書き方をコンピュータ分析結果に基づき、基礎から身に付けることを目指す。

中谷 安男 著  
経済学部経済学科 教授  
出版社：中央経済社  
発行：2020年6月



## ブロックで学ぶ 素粒子の世界

原子よりも小さな粒子の物理学をレゴ®で説明する

原子よりも小さな素粒子には、物質や宇宙までも支配する秘密が隠されている。現代物理学が明らかにした摩訶不思議な素粒子の世界を、難しい記号や数式の代わりにカラフルなブロックを使って説明した素粒子物理学の図解入門書。翻訳者はNHKラジオ「子ども科学電話相談」の分かりやすい解説でも人気。

ベン・スティル 著  
藤田 貢崇 翻訳  
経済学部経済学科 教授  
出版社：白揚社  
発行：2020年9月



## IFRS適用の知見 主要諸国と日本における 強制適用・任意適用の分析

IFRS（国際会計基準）を実際に適用して分かったことは何か——。「海外主要諸国の強制適用」と「日本企業の任意適用」というIFRSが実際に適用された二つの制度状況を観察対象として、IFRS適用を巡る制度設計に資する証拠とそれに基づく知見を提示する。法政大学イノベーション・マネジメント研究センター叢書。

中野 貴之 編著  
キャリアデザイン学部  
キャリアデザイン学科 教授  
出版社：同文館出版  
発行：2020年9月



## 環境倫理学 (3STEPシリーズ)

倫理学の基礎である功利主義、義務論、徳倫理学を分かりやすく解説した上で、生物多様性や放射性物質、気候変動などの最新の環境問題に切り込んでいく。環境問題を自分の頭で考え、実践するための軸を、3段階に分けてステップアップしながら身に付けるテキストシリーズ第2弾。

吉永 明弘 他1名 編纂  
人間環境学部人間環境学科 教授  
出版社：昭和堂  
発行：2020年10月

※日外アソシエーツ 図書内容情報BookPlusを参照

## HOSEI 1・2月号

令和3年1月1日発行  
第48巻第1号（通巻720号）

発行 法政大学 総長室 広報課  
〒102-8160  
東京都千代田区富士見2-17-1  
TEL.03-3264-9240

協力 法政大学後援会

企画・制作協力 (株)日経BPコンサルティング

印刷所 図書印刷(株)



## 法政大学生協同組合書籍部より

### <小金井キャンパス> 教科書の販売

春学期に引き続き、秋学期の教科書もウェブ販売を行いました。春学期は大急ぎで販売サイトを準備したため、発送時に混乱が起きるなど、ご迷惑をおかけすることもありました。秋学期からは他の大学生協でも取り入れているシステムを使い、受注から発送までがスムーズになり、また問い合わせ時の対応も早くなりました。

教科書は例年よりも購入された方が少し多かったと感じています。遠方に在住の学生さんも多く、図書館の利用がままならないこともあり、家での学習の指標としているでしょう。「取りに行ってもいいですか」との問い合わせも複数いただき、キャンパスに直接行きたいという思いを感じました。今は対面授業の実施が限定されていますが、少しずつでも、学生が戻ってくることを願わずにいられます。来春に向けての準備がもう始まります。

(小金井購買書籍部)



# 付属校短信



## 法政大学中学高等学校

### 「心を密に」オンライン文化祭開催

9月26日（土）、高校生によるオンライン鈴掛祭が行われました。実行委員会からは「コロナ禍、つながって一つになる」「特に1年生はお互いをよく知ろう」という呼び掛けがありました。教員がアシストし、生徒たちが工夫を凝らしました。

吹き抜けに彩り豊かにビニール傘が飾られ、「2020」の立体的な構造物に願いごとを書いた付箋が貼られると、11月

14日（土）に鈴掛祭を控えた中学生がうらやましそうに見入っていました。当日は動画配信とライブのMCを組み合わせた演目を各クラスで視聴しました。有志のダンスやクイズ、プラスバンド会や音楽部、チアリーディング部の公演をプロデュースする若い発想に圧倒されました。

また、思い出の写真を撮りたいという要望から全生徒が写れるように華やかなフォトスポットを数カ所作りました。



SNS（会員制交流サイト）への投稿は禁止するなどのルールを決め、違反すれば警告して自治を高めるよう努めました。困難もありましたが、創作者の苦しみ、喜びに思いをはせ、創造物を尊重するマインドを育てる取り組みになりました。



## 法政大学第二中・高等学校

### コロナと共存する二中高

緊急事態宣言の解除を受け、二中高も9月から半年ぶりに全体の対面授業を再開しました。オンライン授業やクラスを半分に分けての対面授業では、クラスとしての一体感はずいぶん弱りましたが、これが事実上のクラス開きです。毎朝の検温、マスク着用、昼食時の諸注意、教室内の消毒など、コロナと共存する新しい学校生活が始まりました。

オンライン授業の経験は、人が集う学

校としての意義を改めて問い直し、再認識するきっかけとなりました。例年10月末に催される二中文化祭・二高祭は非公開のオンライン開催とした他、一体感をつくるために「体育祭」を対面で実施しました。二中高は「共同性」を教育の軸に据えています。授業での話し合いやプレゼンテーション、生徒会、クラブ活動での協同作業は、他者を受け入れることで自己変容を遂げていくための契機と



なるでしょう。学校に来なくても知識や技能を身に付けられるかもしれない。けれども、学校に集うからこそ、学べることもあると気付かされる日々です。



## 法政大学国際高等学校

### 新しい「オレンジ祭」や「国際月間」

国際高は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、9月から短縮授業を採用しつつ全員登校の体制をとっています。オンライン授業・学習の経験を生かして「反転授業」を継続するなど、授業の内容と進度を確保する工夫をしています。

9月26日（土）、27日（日）に開催されたオレンジ祭では生徒のみに入場を制限。公演はライブ配信するなど、例年とは様相が一変しましたが、生徒たちは創

意工夫をしてコロナ禍に対応しました。

海外研修や留学はまだまだ困難ですが、国際部教員と国際交流スタッフの生徒が協力し、世界各国の文化芸術や歴史、言語などを広く紹介する「国際月間」をスタートさせました。第1弾となる10月は「イタリア月間」。パブリックスペースでは、イタリアの多彩な資料が展示されました。10月26日（月）にはランチタイムコンサートを開催し、生徒によるカン



ツォーネ独唱やピアノ演奏、教員によるヴァイオリン演奏などが披露されました。今後は姉妹校をはじめ海外とのオンライン交流を開拓していく予定です。



# 体育会の活躍

## 試合結果

2020年8月1日～2020年11月10日

### 自転車競技部

[10月]

第76回全日本大学対抗選手権自転車競技大会トラック競技の男子4kmチームパーシュートで法政チーム【矢部駿人選手(経営学部)、松崎広太選手(法学部)、青島敬佑選手(法学部<通信教育部>)、小西涼太選手(文学部)】が1位を獲得。太郎田水桜選手(文学部)がトラック競技の女子個人ロードレースでそれぞれ2位、3位を獲得

### 重量挙げ部

[11月]

令和2年度第66回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会+109kg級で澤登健太郎選手(キャリアデザイン学部)が1位、96kg級で田宮翼選手(法学部)が2位を獲得

### レスリング部

[11月]

第46回内閣総理大臣杯令和2年度全日本大学レスリング選手権大会70kg級で藤田大貴選手(デザイン工学部)が3位を獲得



右から2番目が藤田選手(写真提供:レスリング部)

### 野球部

[8月]

2020年東京六大学野球春季リーグ戦で優勝



(写真提供:スポーツ法政新聞会)

[10月]

2020年プロ野球ドラフト会議にて、千葉ロッテマリーンズの1位で鈴木昭汰選手(キャリアデザイン学部)、東北楽天ゴールデンイーグルスの2位で高田孝一選手(法学部)、横浜DeNAベイスターズの育成1位で石川達也選手(キャリアデザイン学部)が指名

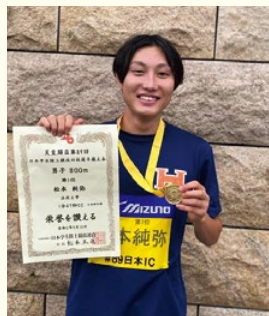


左から、石川選手、鈴木選手、高田選手

### 陸上競技部

[9月]

天皇賜盃第89回日本学生陸上競技対校選手権大会男子800mで松本純弥選手(経済学部)が自己新・大会新記録で1位を獲得。男子400mハードルで黒川和樹選手(現代福祉学部)が2位、男子110mハードルで横地大雅選手(スポーツ健康学部)、樋口陸人選手(スポーツ健康学部)がそれぞれ2位、3位を獲得



松本選手(写真提供:陸上競技部)

[10月]

- ・第104回日本陸上競技選手権大会リレー競技男子4x100mで法政チーム【桑田成仁選手(経済学部)、樋口陸人選手(スポーツ健康学部)、江藤拓都選手(経済学部)、樋口一馬選手(経済学部)】が1位
- ・第97回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会にて8位入賞し、2021年1月2日、3日開催の本選出場権を獲得



左から横地選手、樋口(陸)選手(写真提供:陸上競技部)

### ボート部

[10月]

第47回全日本大学ボート選手権大会女子舵手なしクォドルプルで法政チーム【石垣優香選手(経営学部)、木部真夕選手(経営学部)、市田佑来選手(経営学部)、荒牧穂選手(キャリアデザイン学部)】が3位を獲得



左から、市田選手、石垣選手、木部選手、荒牧選手(写真提供:ボート部)

### 水泳部

[10月]

- ・第96回日本学生選手権水泳競技大会男子100mバタフライで赤羽根康太選手(人間環境学部)が2位、男子200m個人メドレーと男子400m個人メドレーで宮本一平選手(人間環境学部)がいずれも2位を獲得。女子400m個人メドレーで柏崎清花選手(経営学部)が3位を獲得
- ・第62回日本選手権(25m)水泳競技大会男子400m個人メドレーで宮本一平選手(人間環境学部)が自己ベストで2位を獲得



(写真提供:日本水泳連盟)